

2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

2025年2月5日



現在までの取り組み

当社子会社の株式会社フジテレビジョン（フジテレビ）に関する一連の報道をめぐり、ステークホルダーの皆様にご迷惑・ご心配をおかけしていただきますこととお詫び申し上げます。当社およびフジテレビにおけるガバナンス関連の主な取り組みについて、ご報告申し上げます。

2025年1月23日
当社・フジテレビ
第三者委員会設置決議

当社及びフジテレビは、両社の臨時取締役会において、第三者委員会の設置を決議しました。この第三者委員会は、日本弁護士連合会が策定した「企業等不祥事における第三者委員会ガイドライン」に準拠するものです。

2025年1月27日
当社・フジテレビの
代表取締役の異動

同日付で、当社の嘉納修治代表取締役会長が代表取締役及び取締役を、港浩一取締役が取締役を辞任しました。フジテレビでは、嘉納修治代表取締役会長及び港浩一代表取締役社長がそれぞれ代表取締役及び取締役を辞任しました。フジテレビは、当社の清水賢治専務取締役を新たに同社取締役に選任し、1月28日付でフジテレビの代表取締役社長に選定しました。

2025年1月30日
通期業績予想の修正

フジテレビは、今回のAC差し替え及びキャンセル分について、広告料金を請求しない方針としました。これは、広告主と築いてきた信頼関係を維持し、今後早期に広告の発注を再開していただくためです。この結果、同社単体の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が予想を下回る見込みです。また、サンケイビルにおいて保有不動産の売却物件を一部変更した影響により、同社単体の売上高が予想を下回る見込みです。これらの理由により、2025年3月期の通期連結業績の売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を下回る見込みとなりました。

2025年1月30日
経営刷新小委員会
設置

全社外取締役から提案された議案として、「経営刷新小委員会」を当社取締役会の下に設置することを決議しました。検討事項は、今般のタレントと女性のトラブルに関する会社の対応、対外説明等による影響に関する調査（当社とフジテレビの経営状況、ガバナンス体制、グループ各社の経営状況、系列局及び両社の取引先の経営状況等）両社のガバナンスの立て直し及び信頼回復に向けた方策の検討、その内容の代表取締役への提言等です。本調査は、2025年1月23日設置の「第三者委員会」による調査の妨げにならないよう配慮しつつ実施されます。

2025年2月
フジテレビ
再生チーム_(仮)設置へ

社長直轄で、次代を担う世代を中心に、第三者委員会の結果を待たずに、自主的に改善点を見つけて対応策を企画立案・実行していく主体となる組織を立ち上げます。コンプライアンス・ガバナンス、業績改善、経営戦略、社内外のコミュニケーションなど、喫緊の課題をテーマに取り組みを進めます。

目次

1

2025年3月期 第3四半期決算概要

2

2025年3月期 通期業績予想とトピックス

3

株主への利益還元

4

中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み

5

サステナビリティの取り組み

6

参考資料

目次

1

2025年3月期 第3四半期決算概要

2

2025年3月期 通期業績予想とトピックス

3

株主への利益還元

4

中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み

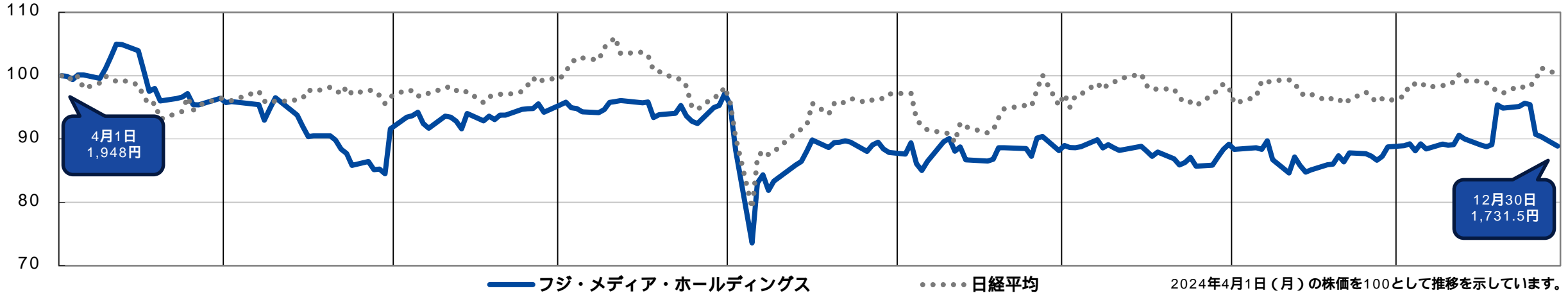
5

サステナビリティの取り組み

6

参考資料

今期の動き



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
F M H	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式取得 上限150億円 取得開始 自己株式 36.1億円(188.6万株)取得 「グループ人権小委員会」発足 	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式 29.5億円(167.7万株) 累計: 65.6億円・356.4万株取得 	<ul style="list-style-type: none"> 譲渡制限付株式報酬制度導入 自己株式 7.6億円(42.2万株) 累計: 73.2億円・398.7万株取得 	<ul style="list-style-type: none"> 譲渡制限付株式報酬として 自己株式 0.7億円(4.0万株) 処分 自己株式 6.6億円(36.4万株) 累計: 79.8億円・435.1万株取得 	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式 16.0億円(98.5万株) 累計: 95.8億円・533.6万株取得 	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式 7.9億円(47.0万株) 累計: 103.8億円・580.7万株取得 	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式 15.9億円(93.8万株) 累計: 119.7億円・674.6万株取得 	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式 15.4億円(91.9万株) 累計: 135.2億円・766.5万株取得 	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式 7.4億円(42.9万株) 累計: 142.6億円・809.4万株取得 	
メディア・コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ 『めざまし media』のローンチから2ヶ月目で月間1000万PVを突破 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ インディIT企業「テックマヒンドラ社」と戦略的パートナーシップ締結 仙台放送 「眼からはじめるやさしい街づくり」連携協定を締結 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ Netflixとコンテンツにおけるライセンス契約を締結 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ 「FNS27時間テレビ 日本一楽しい学園祭!」放送 「バリオリンピック」放送(~8月) AVOD月間再生数1億1,073万再生を記録 「お台場冒険王2024」開幕 映画「逃走中THEMOVIE」公開 ニッポン放送 開局70周年 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ 「FOD」有料会員数150万人突破 映画「赤羽骨子のボディガード」公開 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ 映画「スオミの話をしよう」公開 	<ul style="list-style-type: none"> フジ・コンシューマ・プロダクツ発足 フジテレビ・ピーエスフジ 映画「室井慎次 敗れざる者」公開 フジテレビ 「MLBワールドシリーズ」放送 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ・ピーエスフジ 映画「室井慎次 敗れざる者」公開 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ 映画「室井慎次 生き続ける者」公開 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ AVOD年間再生数10億5,155万再生を記録
都市開発・観光	<ul style="list-style-type: none"> サンケイビル等 須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業(「神戸須磨シーワールド」・「神戸須磨シーワールドホテル」・「須磨海浜公園」)が、国内初となる「CASBEE街区2023年版Sランク」を取得 	<ul style="list-style-type: none"> サンケイビル 新築分譲マンション「ルフォン船堀 ザ・タワーレジデンス」で ResReal 計画認証を国内初取得 	<ul style="list-style-type: none"> グランピスタ 「神戸須磨シーワールド」・「神戸須磨シーワールドホテル」開業 サンケイビル・グランピスタ 「キャプション by Hyatt なんば大阪」開業 	<ul style="list-style-type: none"> サンケイビル 複合型賃貸レジデンス 「(仮称)横浜市中区弁天通 複合賃貸レジデンス計画」開発着手 		<ul style="list-style-type: none"> サンケイビル 物流施設 「SANKEILOGI 府中」竣工 「(仮称)SANKEILOGI 仙台駅」開発着手 賃貸レジデンス 「(仮称)北区赤羽二丁目 賃貸レジデンス計画」開発着手 	<ul style="list-style-type: none"> サンケイビル 物流施設 「神戸須磨シーワールド」来館者100万人達成 サンケイビル 賃貸レジデンス「ルフォンプロ グレ志村坂上」竣工 	<ul style="list-style-type: none"> サンケイビル 新築分譲マンション「ルフォン上野 松が谷」引渡し 	<ul style="list-style-type: none"> サンケイビル 物流施設再生事業 「SANKEILOGI plus」誕生 第1弾「SANKEILOGI plus川越」稼働開始 	

フジテレビの放送収入・配信関連ビジネス グランビスタのホテル・神戸須磨好調

前期比：増収増益
計画比：ほぼ見込み通り

メディア・コンテンツ事業 減収増益

「配信」ビジネス好調

フジテレビのタイム、スポットのいずれの放送収入も増収
配信広告、デジタル、配信プラットフォーム向け販売も好調
ポニーキャニオン、クオラス、DINOS等の減収等により
セグメント全体では減収増益

フジテレビ：増収増益

放送・メディア：増収粗利益増益

- ・タイム：レギュラーはネット減収・ローカル増収、単発増収
- ・スポット：2024年6月以降、前期越え続き増収
- ・配信広告：前期比+42.2%と引き続き増収
- ・番組費：効率的な運用で減少

コンテンツ・ビジネス：減収粗利益減益

- ・イベント：「アレグリア」の反動減等で減収
- ・デジタル：有料会員増加、コンテンツ販売好調で増収
- ・アニメ：配信権販売や海外展開好調で増収

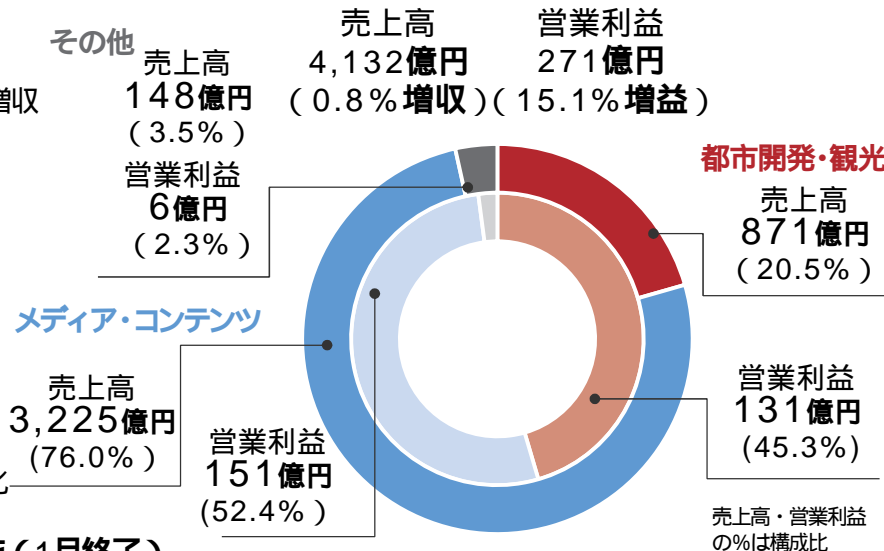
各社：

ポニーキャニオン：アニメ、ライブ関連少なく減収営業損失
DINOS：商品点数集約やカタログ発行方法の見直しで黒字化

連結 増収増益

2本柱が連携し、成長へ

メディア・コンテンツ事業と都市開発・観光事業は
グループの2つの柱として幅広い価値を提供し、
さらに双方が連携することで、より高い成長を実現し、
グループの企業価値の向上へ貢献



「中期グループビジョン」に基づく
今後の方針を通期決算発表を機に
改めて開示予定

都市開発・観光事業 増収増益

「ホテル」好調

サンケイビルは前年同期との売却の規模差で減収、
グランビスタは旺盛な観光需要等によりホテル事業好調
「神戸須磨シーワールド」は来場者数100万名達成
セグメント全体では増収増益

サンケイビル：減収減益

賃貸：オフィス、ホテル等の賃料・稼働率が
ともに引き続き好調で増収

販売・売却：前年同期との売却の規模差で減収

グランビスタ ホテル&リゾート：増収増益

- ・連結子会社化後の第3四半期最高の売上高・営業利益を更新
- ・ホテル事業が国内及びインバウンド等の観光需要を取り込み、稼働率、客単価ともに上昇傾向
- ・「神戸須磨シーワールド」は想定以上に好調
来館者数、館内での飲食・物販等が伸びる

資本収益性の 向上策

自己株式取得：150億円実施（1月終了）
来期以降も継続的な実施を検討
政策保有株式：4Qに縮減予定
設備投資：494億円実施

通期 見通し

25/1/30 業績予想修正

フジテレビにおける広告収入の
大幅減少等により、業績予想修正

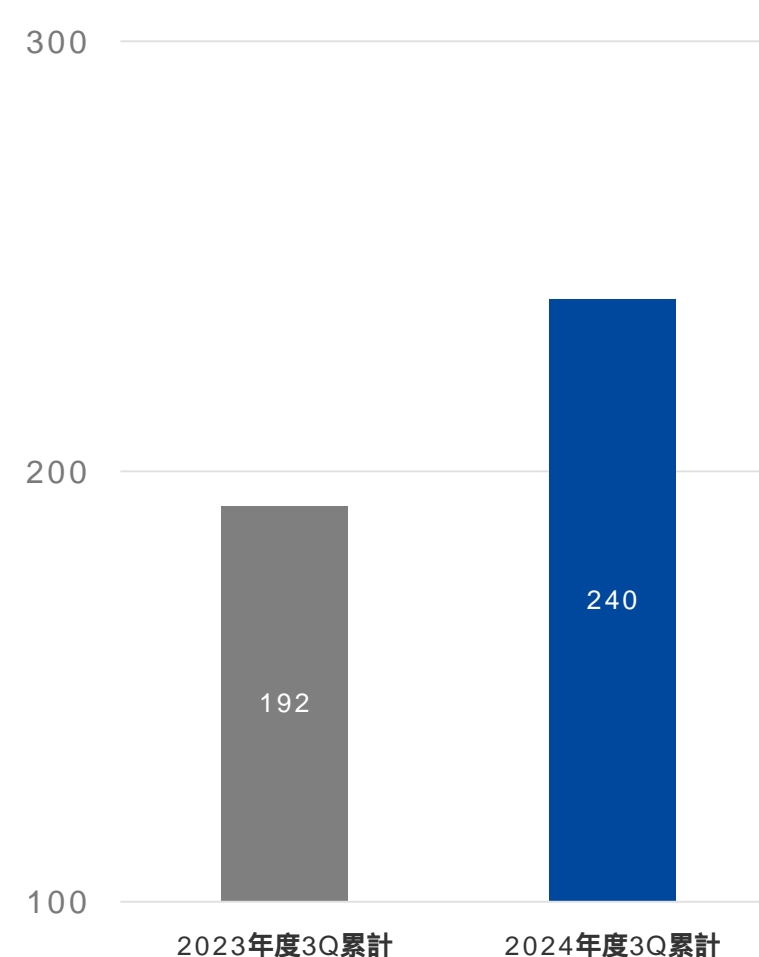
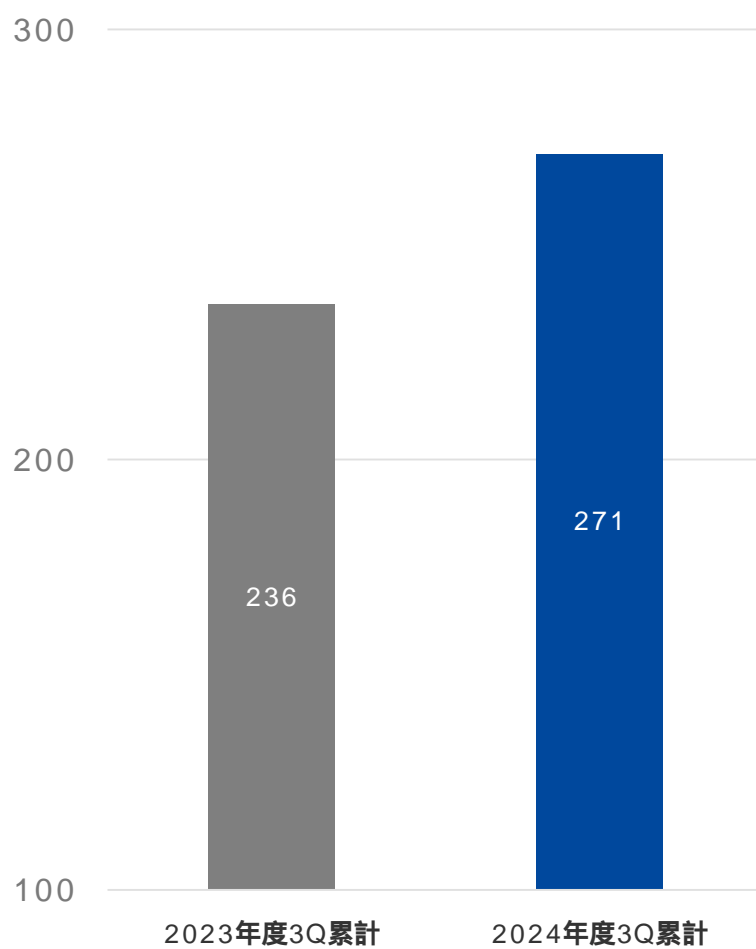
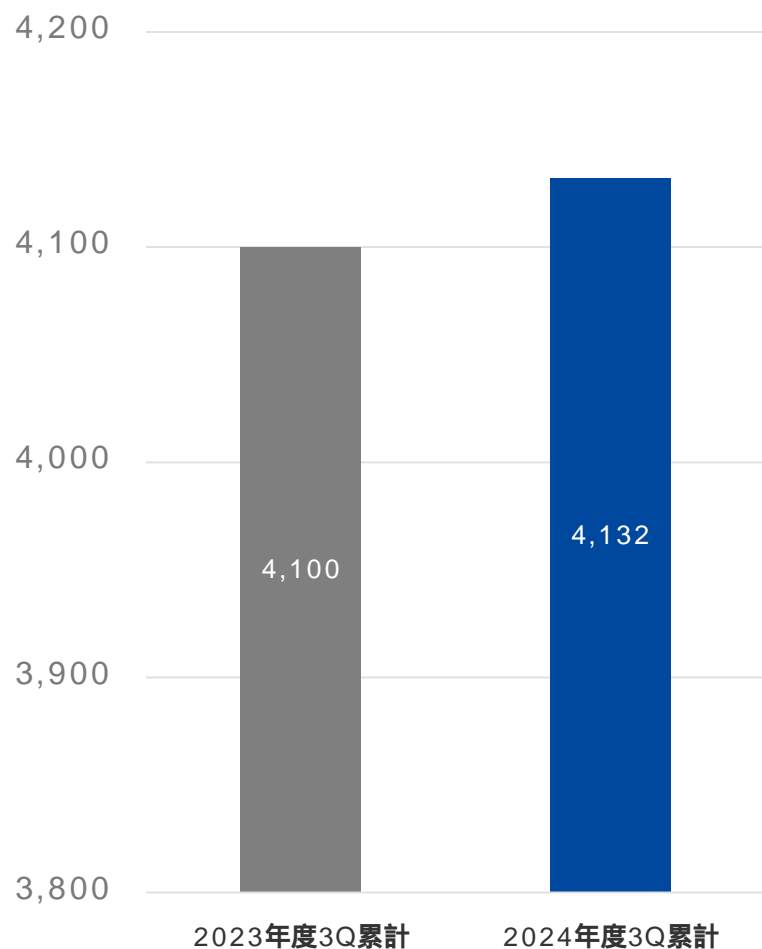
(単位：億円)

連結売上高：0.8%増収

連結営業利益：15.1%増益

親会社株主に帰属する

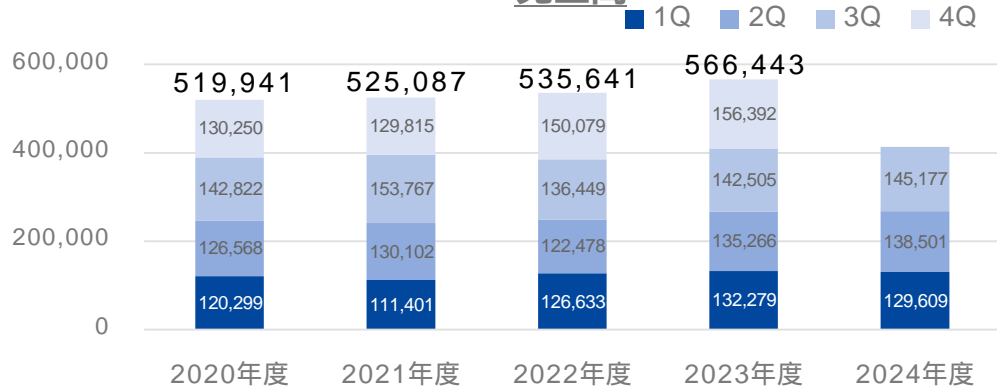
四半期純利益：25.1%増益



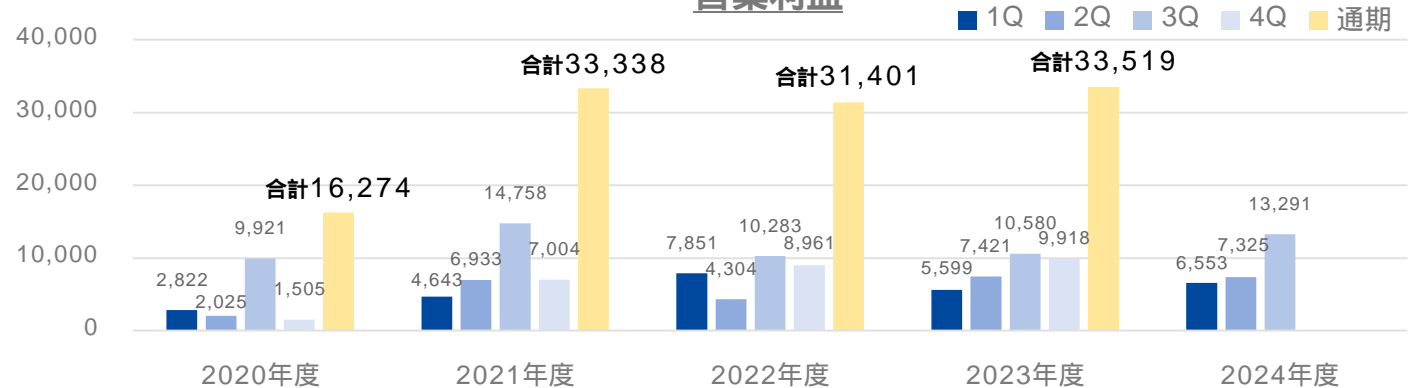
(単位：百万円)

	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	対前期増減		通期 業績予想 (25/1/30)	対通期予想 達成率	
売上高	410,051	413,288	3,237	0.8%	548,200	134,911	75.4%
営業利益	23,601	27,170	3,568	15.1%	18,000	9,170	150.9%
経常利益	28,387	33,862	5,474	19.3%	24,100	9,762	140.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19,256	24,083	4,826	25.1%	9,800	14,283	245.7%

売上高



営業利益



セグメント別 売上高及び営業利益

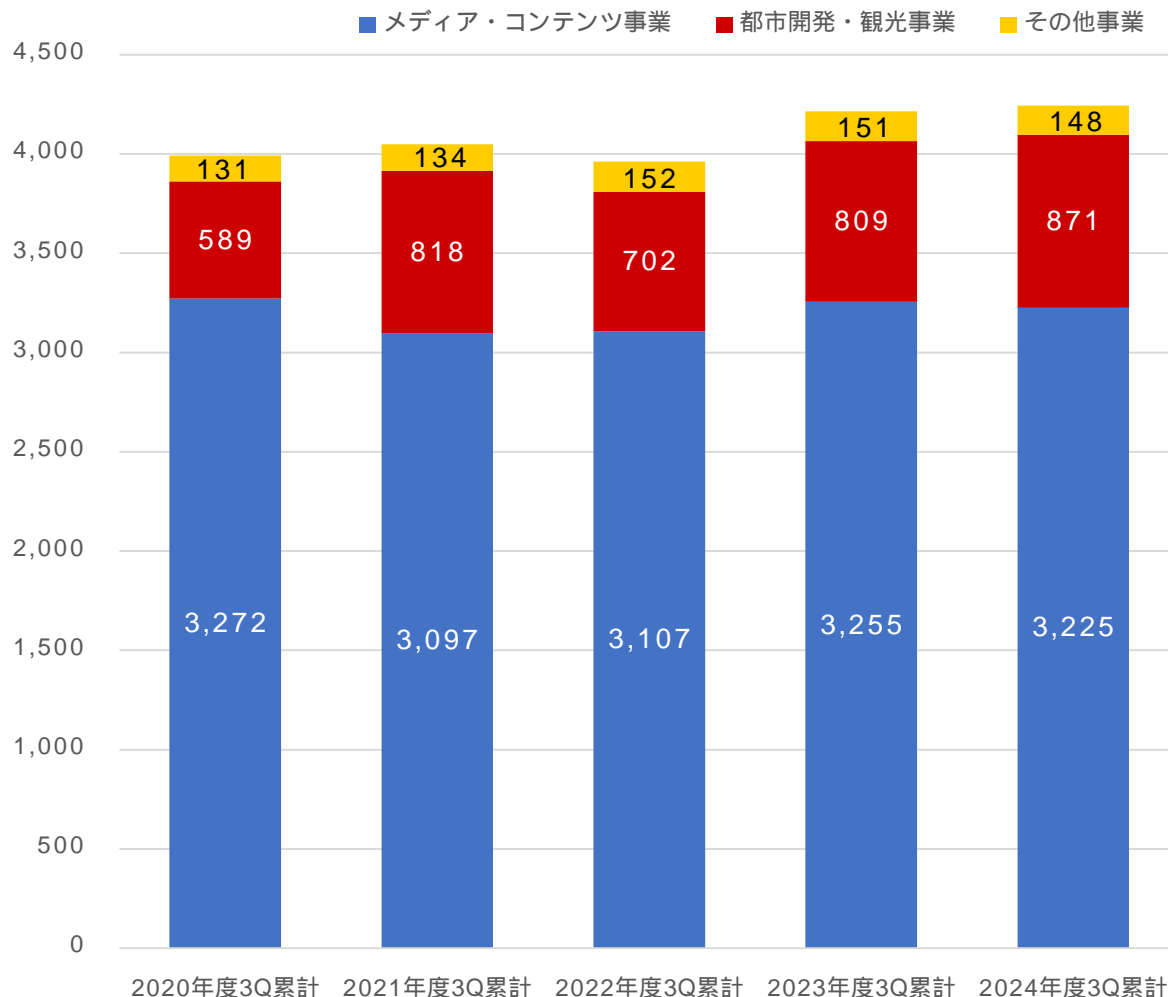
(単位：百万円)

	事業セグメント			計	調整額	連結損益 計算上 書額	
	メディア・ コンテンツ 事業	都市開発・ 観光事業	その他 事業				
売上高	2024年度3Q累計	322,575	87,137	14,863	424,576	11,287	413,288
	2023年度3Q累計	325,524	80,962	15,179	421,666	11,615	410,051
	増減	2,948	6,174	316	2,909	327	3,237
	増減(%)	0.9%	7.6%	2.1%	0.7%	—	0.8%
営業利益	2024年度3Q累計	15,174	13,124	657	28,957	1,786	27,170
	2023年度3Q累計	11,840	12,663	855	25,359	1,757	23,601
	増減	3,334	461	197	3,597	28	3,568
	増減(%)	28.2%	3.6%	23.1%	14.2%	—	15.1%

営業 利益率	2024年度3Q累計	4.7%	15.1%	4.4%	6.8%		6.6%
	2023年度3Q累計	3.6%	15.6%	5.6%	6.0%		5.8%

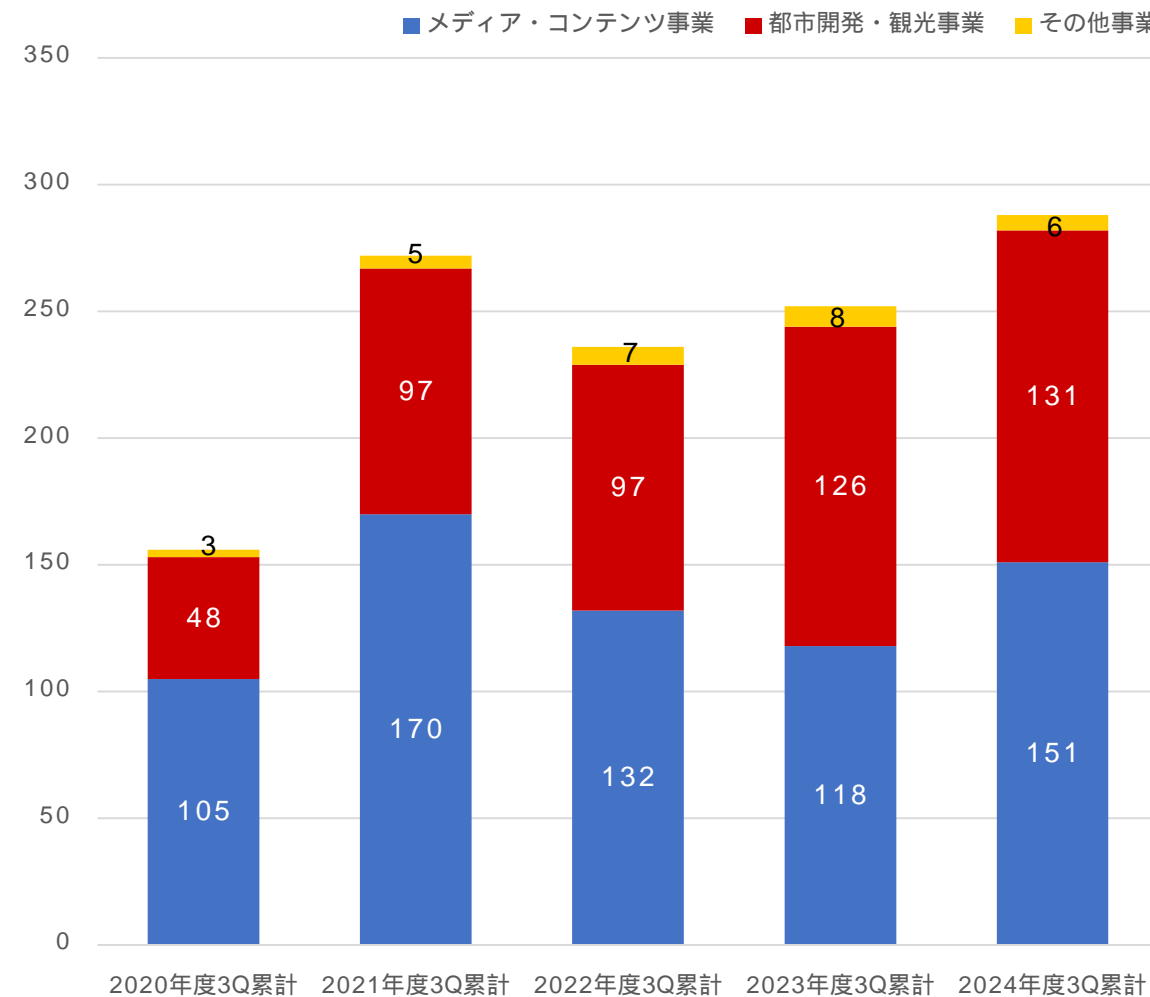
セグメント別 売上高・営業利益推移

売上高

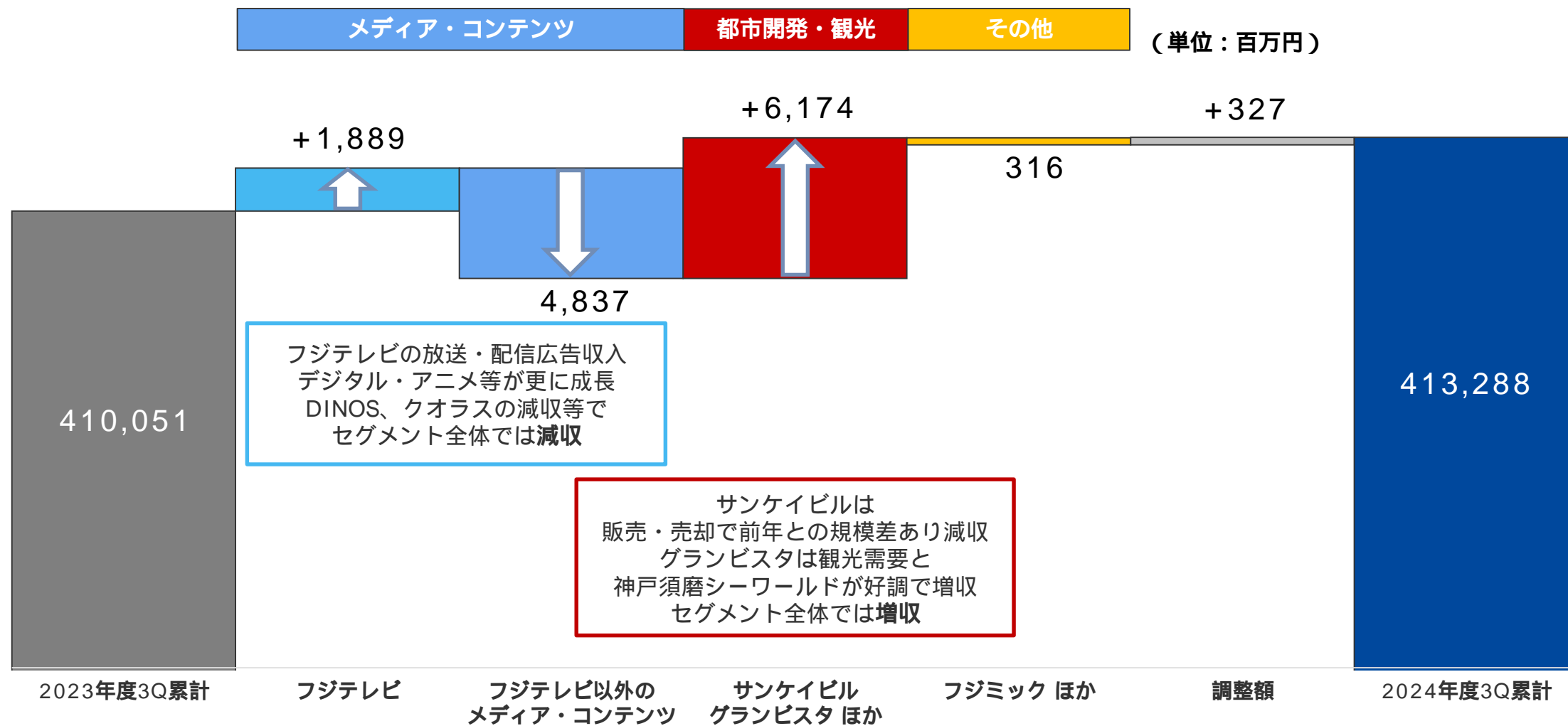


営業利益

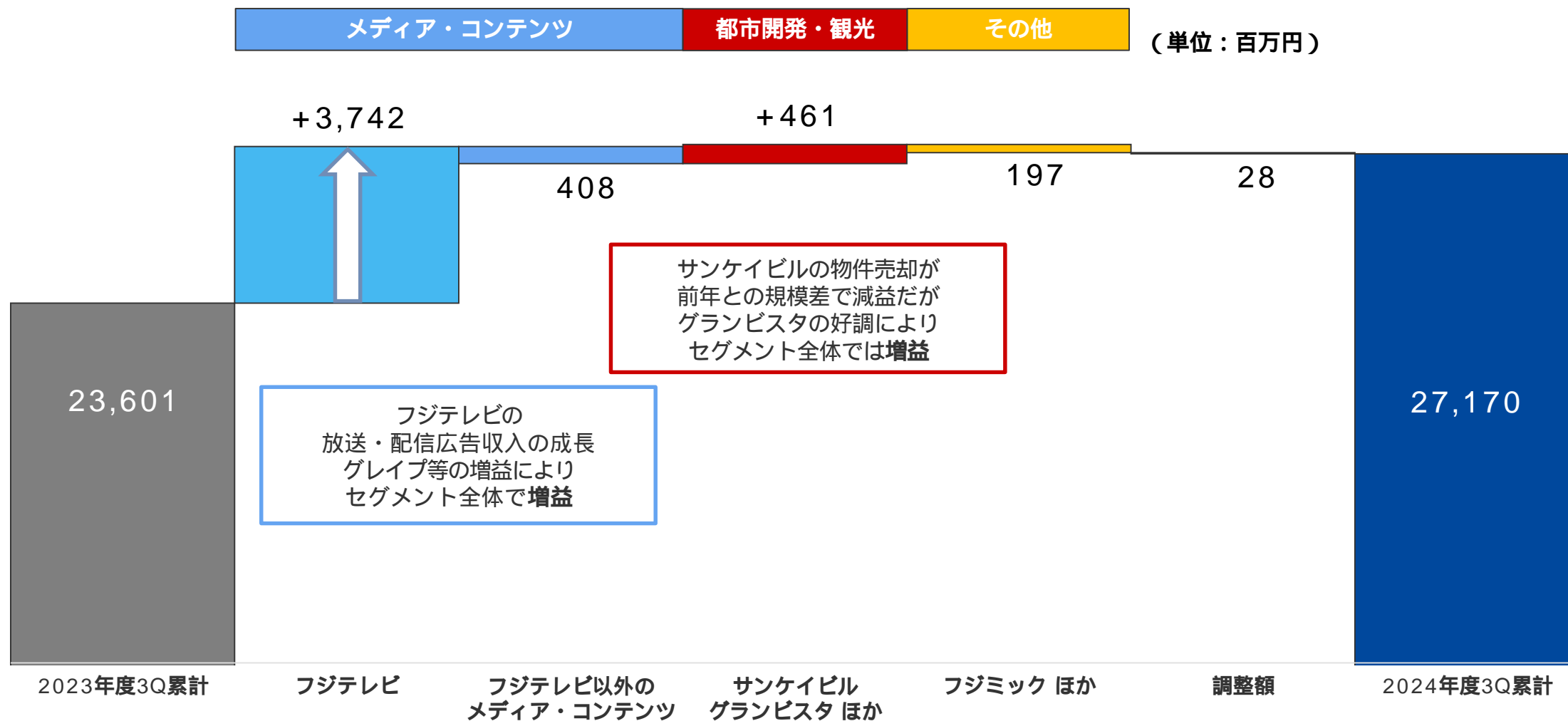
(単位：億円)



セグメント別 売上高と増減要因



セグメント別 営業利益と増減要因



連結 営業外収益・費用の主な内容

営業外収益は、持分法による投資利益の増加により増益

(単位：百万円)

	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	対前期増減	
営業外収益				
受取配当金	3,611	4,169	557	15.4%
持分法による投資利益	958	2,665	1,707	178.1%
その他の他	2,091	2,147	56	2.7%
営業外収益合計	6,661	8,982	2,321	34.8%
営業外費用				
支払利息	1,330	1,923	593	44.6%
その他の他	545	368	177	32.5%
営業外費用合計	1,875	2,291	415	22.2%

連結 特別利益・損失の主な内容

固定資産除却損は、主にフジテレビ本社ビルの大規模修繕に伴うもの

(単位：百万円)

	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	対前期増減	
特 別 利 益				
関係会社株式交換益		235	235	
関係会社清算益		122	122	
その他	727	30	696	95.8%
特 別 利 益 合 計	727	388	339	46.6%
特 別 損 失				
固定資産除却損	166	589	423	254.3%
減損損失	261		261	100.0%
その他	277	222	55	20.0%
特 別 損 失 合 計	705	812	106	15.1%

連結 貸借対照表

1. 2025年3月期3Q
決算概要

(単位：百万円)

	2023年度4Q末	2024年度3Q末	前期末比増減		2023年度4Q末	2024年度3Q末	前期末比増減
流動資産	404,938	441,404	36,466	流動負債	152,437	200,952	48,514
現金及び預金	76,077	87,738	11,661	支払手形及び買掛金	39,292	41,552	2,259
受取手形及び売掛金等	95,858	100,206	4,347	短期借入金	27,677	85,685	58,007
有価証券	121,461	107,335	14,126	その他	85,467	73,714	11,752
棚卸資産	73,553	100,967	27,414	固定負債	426,766	435,559	8,793
その他	37,987	45,156	7,168	社債	20,000	20,000	
固定資産	1,043,894	1,082,307	38,412	長期借入金	273,676	273,482	193
有形固定資産	554,451	568,579	14,127	その他	133,089	142,076	8,987
建物及び構築物	174,618	177,783	3,164	株主資本	722,765	722,071	693
土地	336,381	350,648	14,267	資本金等	746,878	760,395	13,517
その他	43,452	40,147	3,304	自己株式	24,113	38,324	14,211
無形固定資産	26,165	24,271	1,893	その他の包括利益累計額	135,154	153,337	18,182
投資その他の資産	463,277	489,456	26,178	非支配株主持分	11,708	11,790	81
資産合計	1,448,833	1,523,711	74,878	負債・純資産合計	1,448,833	1,523,711	74,878

参考：
都市開発関連資産
(決算期末時点)

		2022年度4Q末	2023年度4Q末	前期末比増減
棚卸資産	販売用不動産	27,743	37,447	9,704
	仕掛販売用不動産	21,533	11,349	10,183
	開発不動産	6,254	6,150	103
有形固定資産	賃貸等不動産	272,944	336,161	63,216

ピーエスフジ

減収減益



単発は好調だが
通販関連の出稿減が響き
減収減益

ニッポン放送

増収増益

「オールナイトニッポン」の好調等により、
放送収入が増加し、増収
原価の抑制等もあり増益

オールナイト ニッポン

ポニーキャニオン

減収営業損失

劇場版「進撃の巨人」完結編
THE LAST ATTACK



アニメ事業での大型作品不足、
イベント関連事業の原価率悪化、
広告宣伝費負担で赤字化

© 諫山創・講談社 / 「進撃の巨人」
The Final Season製作委員会

フジパシフィックミュージック

減収減益

大型楽曲の反動による著作権料収入の減収と
将来に向けた先行投資により減益

グレイプ

増収増益

ウェブメディア「grape」のPV数が過去
最高となり、予約型広告売上、コンテンツ
コマース事業も好調で増収増益

フジクリエイティブコーポレーション

減収増益



番組・イベントの受注減に
より減収も、原価率改善に
より増益

DINOS CORPORATION

減収増益（黒字化）



テレビ通販好調のほか
カタログ通販の商品点数の集約
やカタログ発行方法見直し等
で黒字化

クオラス

減収減益

テレビや新聞等の広告低調、イベント
関連ビジネスも前期に及ばずで減収減益

メディア・コンテンツ事業 会社別概要

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	前期比	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	前期比	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減
フジテレビジョン	179,671	181,560	1,889 (1.1%)	4,340	8,083	3,742 (86.2%)	2.4%	4.5%	2.1%
ビーエスフジ	12,101	12,020	80 (0.7%)	2,463	2,381	82 (3.4%)	20.4%	19.8%	0.6%
ニッポン放送	11,162	11,235	72 (0.7%)	396	556	160 (40.4%)	3.5%	5.0%	1.5%
フジクリエイティブ コーポレーション	11,336	10,586	749 (6.6%)	770	856	86 (11.3%)	6.8%	8.1%	1.3%
共同テレビジョン	11,414	9,717	1,697 (14.9%)	496	205	290 (58.6%)	4.4%	2.1%	2.3%

メディア・コンテンツ事業 会社別概要

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	前期比	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	前期比	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減
ポニーキャニオン	27,191	26,589	601 (2.2%)	612	728	1,341 (-)	2.3%	2.7%	5.0%
フジパシフィック ミュージック	8,863	8,804	58 (0.7%)	939	716	223 (23.7%)	10.6%	8.1%	2.5%
D I N O S CORPORATION	39,909	36,338	3,570 (8.9%)	564	75	639 (-)	1.4%	0.2%	1.6%
クオラス	25,621	24,552	1,068 (4.2%)	1,223	900	323 (26.5%)	4.8%	3.7%	1.1%
その他及び セグメント内修正等	1,746	1,171	-	1,162	2,128	-	-	-	-

クオラスの広告出稿の実取扱高を含めた売上高は前期43,995百万円、当期42,006百万円。

フジテレビ 決算のポイント

ポイント

増収増益 : 放送収入と配信広告収入好調、デジタル、アニメの増収等によりイベントの反動減をカバーし、増収増益
放送・メディア : 増収粗利益増益 : 放送収入はタイム・スポットいずれも増収、配信広告収入は引き続き成長
コンテンツ・ビジネス : 増収粗利益減益 : FOD課金収入と配信権販売が引き続き成長、アニメも好調だが、イベントの反動減等で減収減益

放送・メディア

放送収入：増収

タイム

レギュラーはネット減収、ローカル増収
 単発は期初見込みになかったスポーツ番組等が
 寄与し増収

スポット

「化粧品・トイレタリー」「交通・レジャー・観光」
 「自動車・関連品」等が好調

その他放送・メディア収入：増収

配信広告

前期比+42.2%と引き続き増収 : 多様な業種の広告主から出稿あり好調
2024年もAVOD好調 : 2024年のAVOD年間10億再生突破
 3年連続で再生数・視聴時間で1位、新作・旧作ドラマに加え、
 レギュラー・単発バラエティも利用増に貢献

CS

新価格の浸透等により増収

映画：減収

劇場公開

「室井慎次 敗れざる者」
 「室井慎次 生き続ける者」
 等公開
 前年ヒットの反動減
 により減収

©2024 フジテレビジョン
ビーエスフジ 東宝

配信権販売

前年ヒット作をはじめ
 アーカイブ作品の
 配信権販売が引き続き好調



デジタル：増収

FOD

有料会員は引き続き増加
 TVer無料配信終了後の
 FODへの入会、
 地上波との連動、
 アーカイブの活用奏功



©都戸利津・白泉社/フジテレビジョン

配信権販売

放送中のドラマや
 過去作品を有効活用



©フジテレビ

アニメ開発：増収

配信権販売

配信権販売や海外への
 展開が好調

配分金・MD

人気アニメ関連等好調

©高橋留美子・小学館/アニメ
「うる星やつら」製作委員会

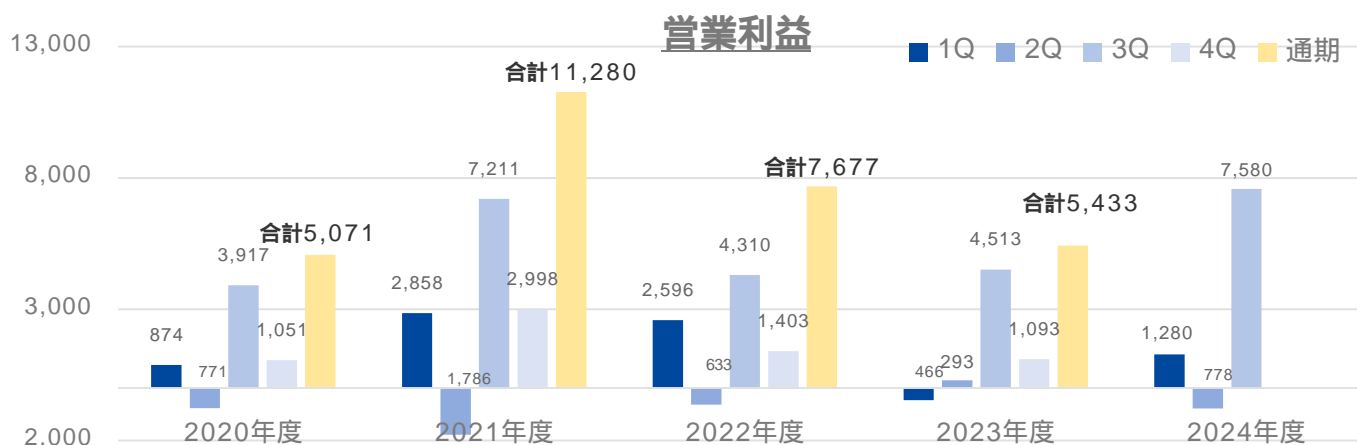
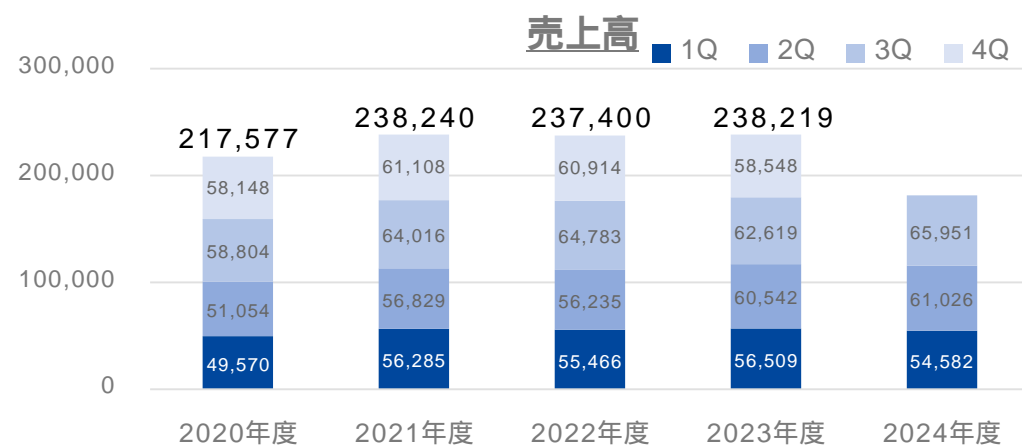
イベント：減収

「アレグリア」の反動で減収

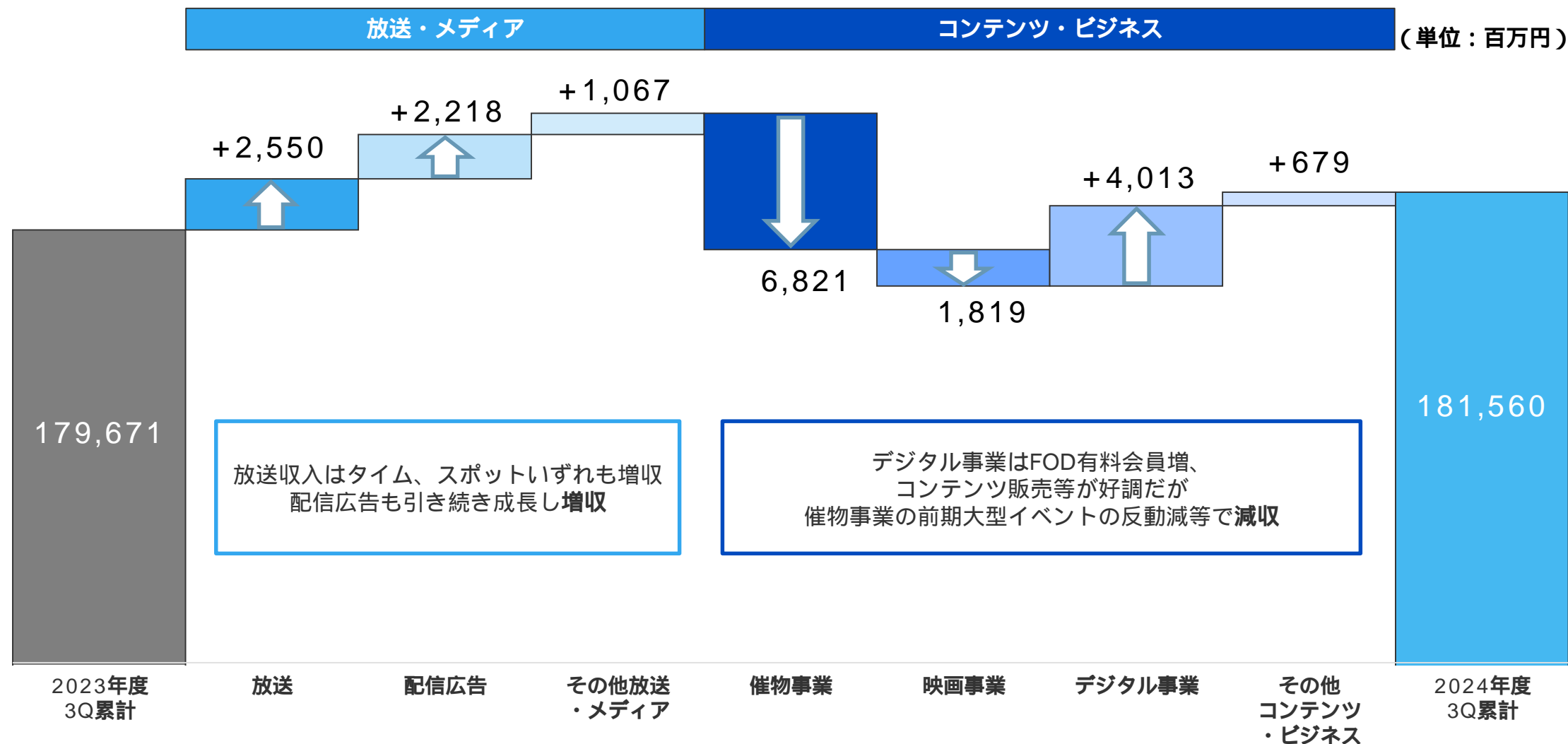
コンテンツ・ビジネス

(単位：百万円)

	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	対前期増減	
売上高	179,671	181,560	1,889	1.1%
営業利益	4,340	8,083	3,742	86.2%
経常利益	4,533	8,321	3,788	83.6%
四半期純利益	2,942	5,579	2,636	89.6%



フジテレビ 売上高と増減要因



内訳別の収入及び粗利益

(単位：百万円)

	内訳			計
		放送・メディア	コンテンツ・ビジネス	
収 入	2024年度3Q累計	141,908	39,651	181,560
	2023年度3Q累計	136,071	43,599	179,671
	増 減	5,836	3,947	1,889
	増減(%)	4.3%	9.1%	1.1%
粗 利 益	2024年度3Q累計	39,363	12,445	51,809
	2023年度3Q累計	35,043	12,489	47,532
	増 減	4,319	43	4,276
	増減(%)	12.3%	0.3%	9.0%
粗 利 益 率	2024年度3Q累計	27.7%	31.4%	28.5%
	2023年度3Q累計	25.8%	28.6%	26.5%

販管費及び営業外損益概要

(単位：百万円)

	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	対前期増減	
販売費及び 一般管理費	43,192	43,725	533	1.2%
販売費	31,058	31,793	735	2.4%
一般管理費	12,134	11,932	201	1.7%
営業費用合計	175,330	173,476	1,853	1.1%
営業利益	4,340	8,083	3,742	86.2%
営業外収益	402	451	48	12.0%
営業外費用	209	212	3	1.6%
経常利益	4,533	8,321	3,788	83.6%

放送・メディア 収入と原価

(単位：百万円)

	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	対前期増減	
放送・メディア収入	136,071	141,908	5,836	4.3%
放送収入	109,824	112,374	2,550	2.3%
ネットタイム	48,133	49,327	1,194	2.5%
ローカルタイム	7,512	7,971	458	6.1%
スポット	54,178	55,076	898	1.7%
その他の放送・メディア収入	26,246	29,533	3,286	12.5%
配信広告	5,257	7,476	2,218	42.2%
番組販売	11,327	11,351	23	0.2%
CS放送・その他	9,661	10,706	1,044	10.8%
放送・メディア原価	101,028	102,545	1,516	1.5%
放送・メディア粗利益	35,043	39,363	4,319	12.3%

スポット収入 業種別動向

(2024年4月～2024年12月) 管理ベース

「化粧品・トイレタリー」「交通・レジャー・観光」「自動車・関連品」等が好調

業種	2023年度 3Qシェア	2024年度 3Qシェア	対前期増減
情報・通信・放送	13.0%	12.8%	0.6%
化粧品・トイレタリー	11.7%	12.7%	9.2%
食品	8.4%	8.6%	2.6%
外食・各種サービス	9.5%	7.4%	21.9%
交通・レジャー・観光	6.4%	7.1%	11.7%
非アルコール飲料	7.3%	6.1%	16.0%
金融・保険	5.8%	5.5%	4.2%
自動車・関連品	4.1%	5.3%	32.2%
医薬品・医療用品	5.1%	4.9%	3.0%

業種	2023年度 3Qシェア	2024年度 3Qシェア	対前期増減
事務・精密・光学機器	3.7%	4.6%	22.4%
アルコール飲料	4.9%	4.5%	7.3%
出版・エンタテインメント	4.6%	4.4%	4.5%
流通・小売業	4.0%	3.6%	9.2%
衣料・身回品・雑貨	2.6%	3.0%	18.9%
不動産・住宅設備	2.9%	2.7%	6.2%
家電・AV機器	2.1%	2.0%	4.5%
電話サービス	1.5%	1.7%	17.8%
エネルギー・機械	0.5%	1.4%	215.1%
その他	2.0%	1.8%	8.6%

効率的な運用を継続

(単位：百万円)

	2023年度	2024年度	対前期増減	
第1四半期	17,000	16,103	897	5.3%
第2四半期	17,320	18,961	1,640	9.5%
上期	34,321	35,064	743	2.2%
第3四半期	17,151	16,857	293	1.7%
第4四半期	16,785			
下期	33,936			
通期	68,258			

自社制作番組及び購入番組の直接費

コンテンツ・ビジネス 収入と原価

(単位：百万円)

	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	対前期増減	
			対前期増減	対前期増減率
コンテンツ・ビジネス収入	43,599	39,651	3,947	9.1%
催物事業収入	12,191	5,370	6,821	55.9%
映画事業収入	8,205	6,386	1,819	22.2%
デジタル事業収入	10,664	14,677	4,013	37.6%
MD事業収入	4,698	4,423	274	5.8%
アニメ開発事業収入	2,821	4,174	1,352	48.0%
ビデオ事業収入	1,282	711	570	44.5%
海外番販事業収入	1,079	1,720	641	59.5%
その他の収入	2,657	2,186	471	17.7%
コンテンツ・ビジネス原価	31,110	27,205	3,904	12.6%
コンテンツ・ビジネス粗利益	12,489	12,445	43	0.3%

配信関連 配信広告とデジタル事業

配信関連 ビジネス

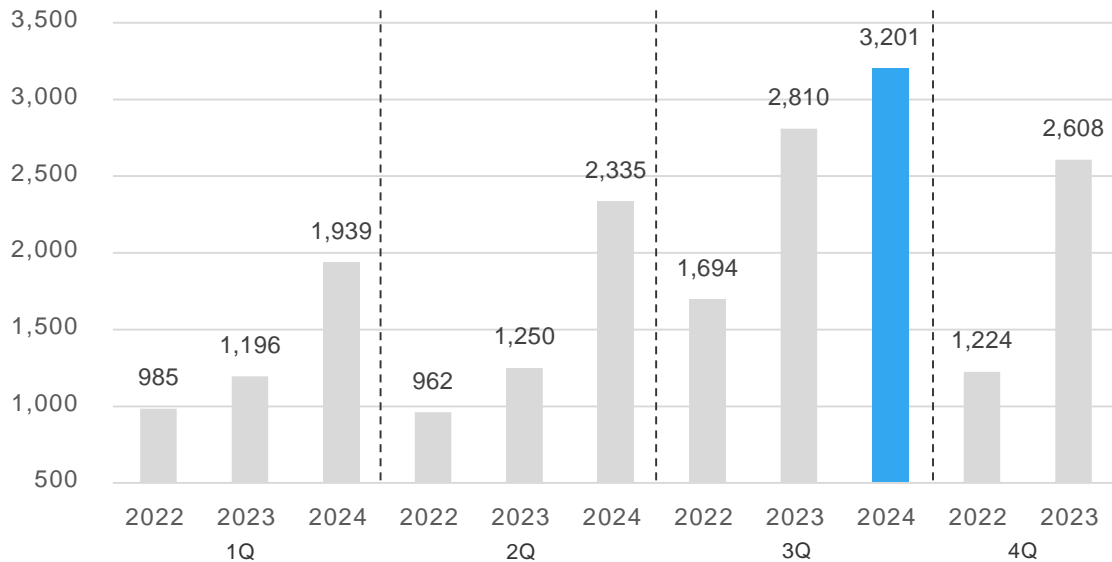
配信広告 : 「TVer」等のAVOD
デジタル事業 : 「FOD」のSVOD、「FNNプライムオンライン」「めざましmedia」の広告収入
 テレビ番組やオリジナルコンテンツの配信プラットフォーム向け販売
その他 : 「映画事業」や「アニメ開発事業」等によるコンテンツ販売

実績

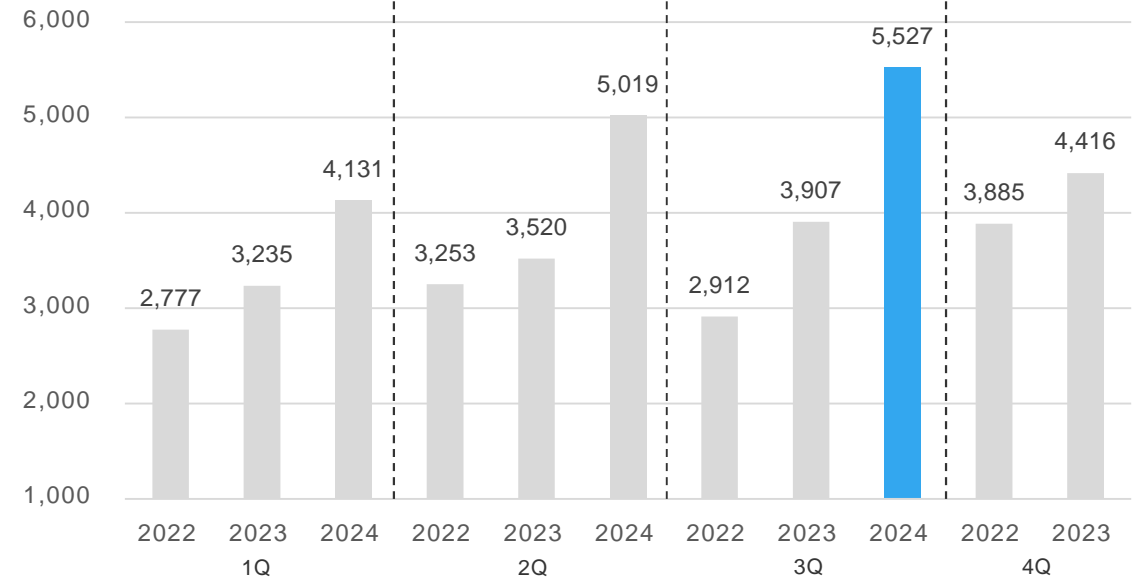
- : 3Q累計で合計221億円（前期比+39.1%）
- : 2024年も、3年連続で再生数・視聴時間で1位のAVOD2冠
- : 新作と共に、豊富なアーカイブ作品を活用

（単位：百万円）

配信広告売上高



デジタル事業売上高



サンケイビル（都市開発） 決算のポイント

ポイント

- 減収減益** : 賃貸、販売・売却共に順調だが、前期の物件売却の反動あり
賃貸 : 新規取得・竣工物件等により賃貸収入が増加したが、開発物件の一時費用の発生等により増収減益
販売・売却 : 前期の売却物件との規模差で減収減益

賃貸：増収減益

住宅等



ルフォンプログレ志村坂上

- ルフォンプログレ**
「ルフォンプログレ志村坂上」竣工
(79戸：2024年10月竣工)
「ルフォンプログレ西大井プレミア」
稼働率上昇
(135室+店舗1区画：2024年1月竣工)

オフィス等



SANKEILOGI 府中

- 物流施設**
「SANKEILOGI 府中」竣工
(地上4階建て、延床面積約39,617 m²)
「SANKEILOGI」シリーズ第4弾
マルチテナント型の物流倉庫
供給が少なく利便性の高い府中エリアに誕生
オフィス
前期4Qに取得の「ブリーゼタワー」等が寄与
ホテル
国内の旺盛な観光需要やインバウンドで好調

販売・売却：減収減益

住宅等



ルフォン上野松が谷

- 新築分譲マンション**
「ルフォン上野松が谷」(34戸：全戸完売)
「ルフォン船堀 ザ・タワーレジデンス」
(販売好調)

オフィス等



- オフィス**
「S-GATE FIT 天神南」
シリーズ初の九州進出物件
地上14階建：2023年7月竣工
敷地面積 約899 m²
延床面積 約4,764 m²

ポイント

増収増益：札幌の2ホテルやインターゲートホテルズの東京京橋・大阪梅田、「神戸須磨シーワールド」好調
ホテル：国内需要やインバウンド需要により、引き続き好調
神戸須磨シーワールド：6月1日に開業、飲食、物販等も好調

グランビスタ ホテル&リゾート：増収増益

ホテル



ホテルインターゲート大阪 梅田

引き続き好調

インバウンドと国内観光客による需要増で稼働率、平均単価ともに前期を上回る水準

「札幌グランドホテル」「札幌パークホテル」
国内需要を中心に稼働率、単価ともに好調に推移

「インターゲートホテルズ」
前期以上のインバウンド需要で単価・稼働率ともに上昇

神戸須磨シーワールド好調スタート

「神戸須磨シーワールド」
来場者の滞在時間が長く、飲食、物販も好調に推移
併設する「神戸須磨シーワールドホテル」も好調



神戸須磨シーワールド

レジャー 海洋 等

その他

サンケイビルマネジメント

新規物件の受注や稼働によるビルマネジメント関連収入の増加、工事収入の増加等で増収

サンケイビルウェルケア

ウェルケアガーデンの増収等で増収増益



都市開発・観光事業 会社別概要

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	前期比	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	前期比
サンケイビル	44,176	39,573	4,603 (10.4%)	10,009	6,762	3,246 (32.4%)
グランピスタ ホテル&リゾート	23,712	33,757	10,045 (42.4%)	3,131	5,239	2,107 (67.3%)
その他及び セグメント内修正等	13,073	13,806	-	477	1,122	-

営業利益率		
2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	前期比
22.7%	17.1%	5.6%
13.2%	15.5%	2.3%
-	-	-

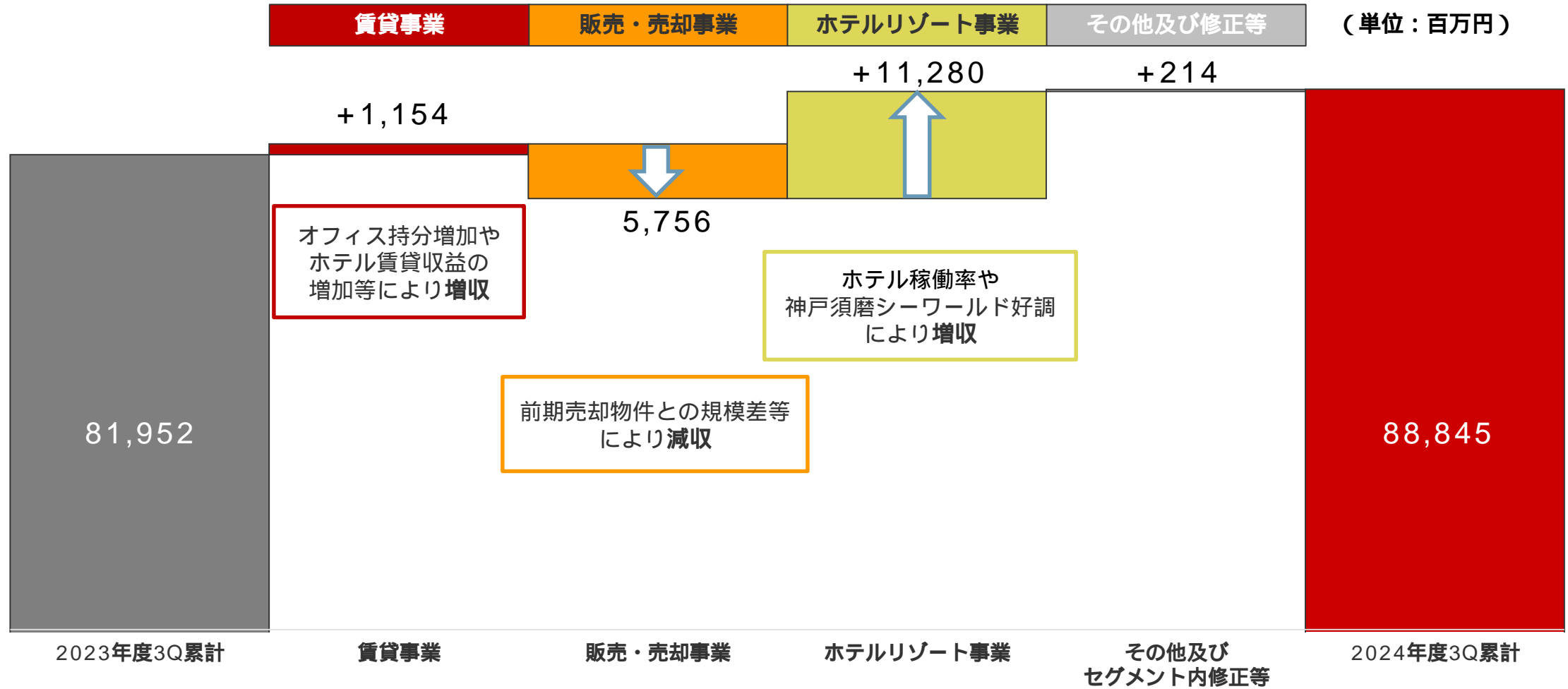
参考：サンケイビルグループ連結事業別内訳（FMHとは連結対象が異なります）

	売上高			営業利益		
	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	前期比	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	前期比
賃貸事業	18,123	19,278	1,154	4,384	4,337	47
販売・売却事業	26,075	20,318	5,756	6,967	4,001	2,965
ホテルリゾート事業	25,500	36,780	11,280	3,090	5,249	2,158
その他及び セグメント内修正等	12,253	12,467	-	2,291	753	-

営業利益率		
2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	前期比
24.2%	22.5%	1.7%
26.7%	19.7%	7.0%
12.1%	14.3%	2.2%
-	-	-

サンケイビルグループ連結事業別 売上高と増減要因

(FMHとは連結対象が異なります)



目次

1

2025年3月期 第3四半期決算概要

2

2025年3月期 通期業績予想とトピックス

3

株主への利益還元

4

中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み

5

サステナビリティの取り組み

6

参考資料

2025年3月期通期 連結業績予想（25/1/30修正）

2. 2025年3月期
通期業績予想

（単位：百万円）

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 今回予想	前回予想 (24/5/9)	前回予想 との増減額	前期実績との増減額	
売上高	566,443	548,200	598,300	50,100	18,243	3.2%
営業利益	33,519	18,000	35,300	17,300	15,519	46.3%
経常利益	39,173	24,100	40,400	16,300	15,073	38.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37,082	9,800	29,000	19,200	27,282	73.6%

【フジテレビ】広告収入の2025年3月通期見込み（25/1/30修正）

	2024年3月期 実績	2025年3月期 今回予想	前回予想 (24/5/9)	前回予想との 増減額 (= -)	前期実績との増減額 (= -)	
ネットタイム	63,551	53,700	64,500	10,800	9,851	15.5%
ローカルタイム	10,135	9,500	10,000	500	635	6.3%
スポット	73,662	62,000	74,000	12,000	11,662	15.8%
放送収入合計	147,348	125,200	148,500	23,300	22,148	15.0%

セグメント別業績予想（25/1/30修正）

2. 2025年3月期
通期業績予想

（単位：百万円）

	事業セグメント				合計	調整額	連結損益 計算書 計上額
		メディア・ コンテンツ 事業	都市開発・ 観光事業	その他			
売上高	2025年3月期 今回予想	401,500	144,400	20,000	565,900	17,700	548,200
	前回予想 (24/5/9)	434,000	164,500	19,800	618,300	20,000	598,300
	増減額	32,500	20,100	200	52,400	2,300	50,100
営業利益	2025年3月期 今回予想	3,300	23,600	800	21,100	3,100	18,000
	前回予想 (24/5/9)	16,500	20,700	900	38,100	2,800	35,300
	増減額	19,800	2,900	100	17,000	300	17,300

設備投資計画と減価償却費（計画修正なし）

2. 2025年3月期
通期業績予想

（単位：百万円）

		2025年3月期		2026年3月期
		3Q累計 （実績）	通期 （計画）	通期 （計画）
設備投資額	連 結	49,480	80,000	78,000
	フジテレビ	3,166	8,000	6,000
	都市開発・観光事業	41,793	65,000	65,000
	フジ・メディアHD	1,814	4,500	3,200
減価償却費	連 結	14,786	20,600	21,000
	フジテレビ	4,479	6,500	6,800
	都市開発・観光事業	6,004	8,500	8,600
	フジ・メディアHD	1,492	2,300	2,600

フジ テレビ

配信（広告・有料配信・販売）や
アニメのさらなる成長を目指す

放送・メディア

配信：ドラマのレギュラー、アーカイブ配信に加え、バラエティの見逃し配信等によりユーザーの更なる利用増と、様々な業種や規模の広告主による出稿増を期待

コンテンツ・ビジネス

映画：「劇場公開」と「二次利用」の二本柱
「アンダーニンジャ」1月24日公開
「知らないカノジョ」2月28日公開予定

デジタル：FODの有料会員数は2024年8月に150万人を突破後も、引き続き順調に増加
コンテンツの外部配信プラットフォームへの販売ほか、収益源の多角化を図る
海外のIPホルダー等との共同制作も実施

アニメ：アーカイブ作品の海外展開促進や人気アニメの配分金の拡大を目指す



©2024 Fuji Television Network, Inc. Skybound, LLC All rights reserved



©サイコパス製作委員会

ポニー キャニオン

当面は種まきの時期
海外拠点でのビジネス本格化

音楽

BAND-MAID「Zen」が1月13日に配信開始
MAPPAのオリジナルTVアニメ『全修。』のテーマ曲

アニメ

『空色ユーティリティ』1月放送開始
Yostar Pictures初のオリジナルアニメ

海外展開

米国と台湾の現地法人を通じて
音楽やアニメ等の海外展開を目指す



DINOS CORPORATION

商品の絞り込みと
効率的な販促で業績改善へ

商品：消費者のニーズや季節感に対応した商品の販売で売上を確保しつつ、好調なテレビ通販への積極的な新商品の投入等で成長を目指す

販促：カタログの発行時期、ページ数、部数を見直し、WEBのUI/UX改善、リテンション施策を強化

サンケイビル

賃貸



ルフォンプログレ秋葉原マークス

【レジデンス】

ルフォンプログレ秋葉原マークス
99戸：2025年1月竣工

ルフォンプログレ門前仲町プレミア
69戸：2025年2月竣工予定



S-GATE FIT 東比恵

【オフィス】

S-GATE FIT 東比恵
2025年2月竣工予定
敷地面積 約 1,739 m² (約 526 坪)
延床面積 約 8,046 m² (約 2,434 坪)

販売・分譲



ルフォンリブレ板橋本町

ルフォンリブレ板橋本町
2024年12月竣工
47戸 (完成後販売開始)
2025年6月より引き渡し予定

グランビスタ ホテル&リゾート

ホテル



札幌グランドホテル

札幌グランドホテル・札幌パークホテル
2024年12月に開業90周年を迎えた
「北の迎賓館」札幌グランドホテルは変化する観光需要に対応し、本館客室(148室)の全面改装を実施、2025年6月稼働予定

インターゲートホテルズ

東京、大阪、京都等の大都市圏を中心に
インバウンド観光客の増加を見込む

銀座グランドホテル

インバウンド観光客需要が続く見通し

神戸須磨シーワールド

開業から約4か月の2024年10月に
来館者数100万人を突破
2024年11月から2025年春まで
「神戸須磨シーワールド ウィンター
イルミネーション」を開催するなど
イベント、飲食、物販の充実に努める



神戸須磨シーワールド
ウィンターイルミネーション

神戸須磨シーワールドホテル

開館前のシャチを観察する宿泊者限定ツアー
「朝のオルカスタジアム散歩」開始
宿泊者ならではの体験を提供

神戸須磨

目次

1

2025年3月期 第3四半期決算概要

2

2025年3月期 通期業績予想とトピックス

3

株主への利益還元

4

中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み

5

サステナビリティの取り組み

6

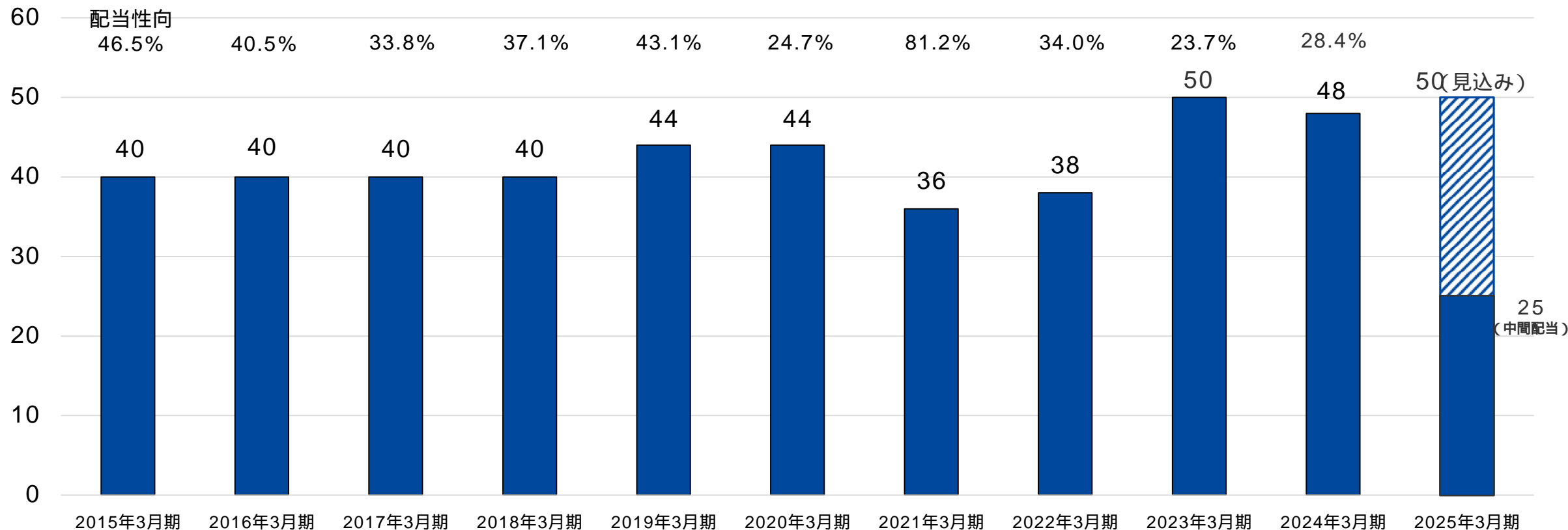
参考資料

株主への利益還元：配当

方針

2025年3月期 年間配当50円（見込み・対前期比+2円）
 連結ベースの配当性向40%を基本に、配当の安定性等を考慮して決定

（単位：円）



2019年3月期の年間配当には、普通配当40円以外に認定放送持株会社移行10周年及び（株）フジテレビジョン開局60周年記念配当4円を含む
 2023年3月期の年間配当には、普通配当40円以外に認定放送持株会社移行15周年及び（株）フジテレビジョン開局65周年記念配当10円を含む
 名義書換を拒否した外国人に対する配当金の支払いについて
 当社は2009年3月期より、放送法の規定により議決権割合20%以上となり株主名簿への記載を拒否する外国人に対しても、配当の支払いを実施

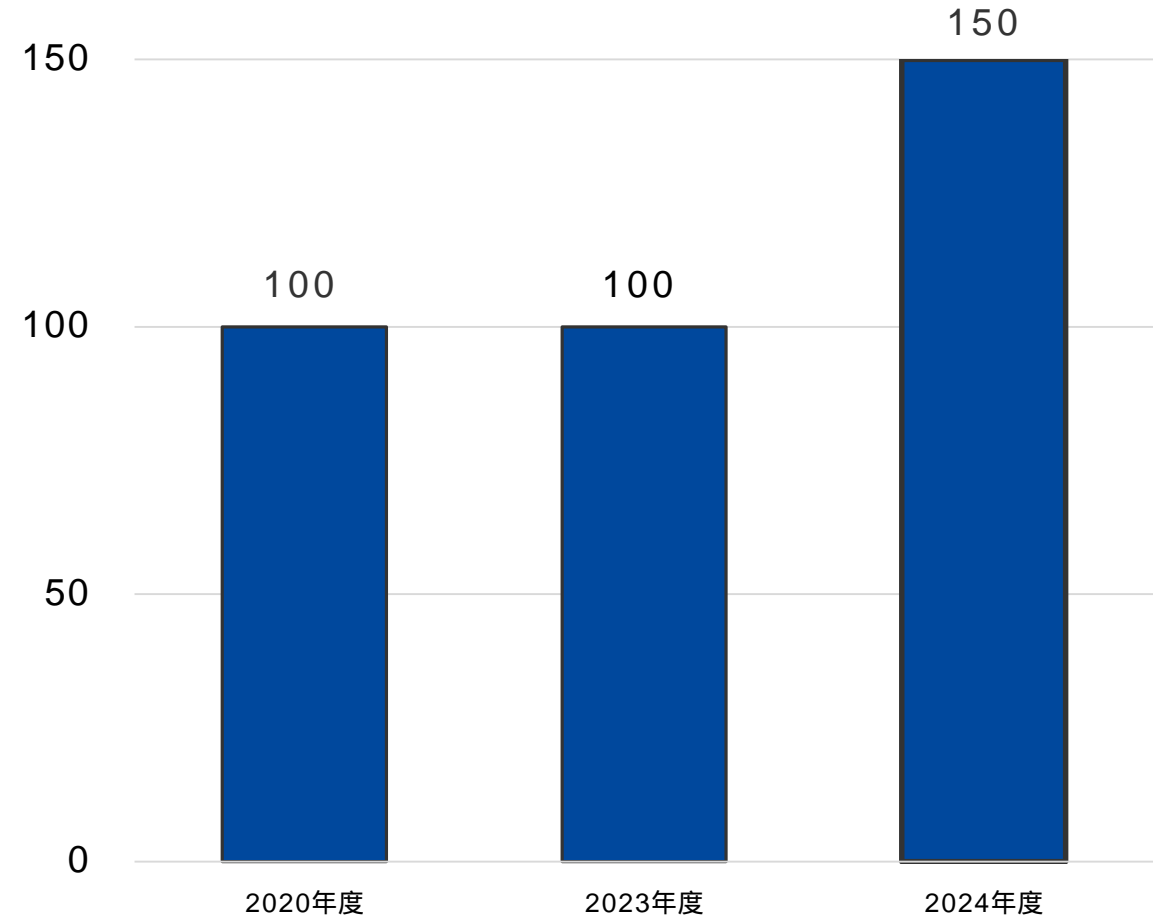
自己株式取得の考え方

機動的な自己株式取得等の資本政策により
資本収益性の向上を図るべく、
自己株式取得の継続的な実施を検討

実績と2024年度の進捗

- 2020年度および2023年度で
合計200億円の自己株式取得を実施
- 2024年度も150億円の
自己株式取得を実施
(1月終了)

(単位：億円)



目次

1

2025年3月期 第3四半期決算概要

2

2025年3月期 通期業績予想とトピックス

3

株主への利益還元

4

中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み

5

サステナビリティの取り組み

6

参考資料

中期グループビジョン 概要（2023年5月公表）

業績目標

「人々が心を潤し、生活を豊かにするすべてのもの」を「コンテンツ」と捉え一人ひとりの生活スタイルに適ったメディア・販路・提供手段で届けることで
2025年度に連結営業利益400億円を目指す

事業の 方向性

メディア・コンテンツ事業

2025年度営業利益目標：240億円

- ・生活者との接点の拡大と創出
- ・コンテンツ制作の体制強化
- ・コンテンツ強化への投資加速

都市開発・観光事業

2025年度営業利益目標：180億円

- ・都市開発：アセットタイプの拡大や大規模開発の発掘
- ・観光：国内観光需要・インバウンド回復の取り込み
- ・一定の財務規律のもとでの投資の拡大

財務の 方向性

成長のための投資を継続・株主還元を重視し資本収益性の向上へ

- ・バランスシートの見直しと戦略的活用により、成長投資を推進
- ・安定的な配当の継続と、機動的な自己株取得の検討による株主還元
- ・成長投資への活用に向け、「政策保有株式」を投下資本の20%以下への減少を目指す
- ・成長投資等に向け、連結自己資本比率50%を下限に、外部借入を拡大
- ・資本収益性の向上と成長期待・株主還元の推進でPBR上昇を目指す

非財務の 方向性

ガバナンス体制の向上・人的資本の強化、サステナビリティの推進

- ・経営諮問委員会の設置
- ・女性管理職比率の向上
- ・成長戦略実現や新たな価値創造に貢献できる多様な人財の獲得・育成
- ・2050年のカーボンニュートラル実現を目指す

中期グループビジョン 今後の方針（2024年5月公表）

資本収益性の向上

政策保有株式

成長投資および株主還元の推進に向け、
2030年度までに純資産比20%未満を目標とする

成長投資

外部借入や保有資産の見直し等により
キャッシュを創出し利益を拡大する成長投資を継続

配当

配当は連結ベースの配当性向40%を基本に
安定性等を考慮して決定

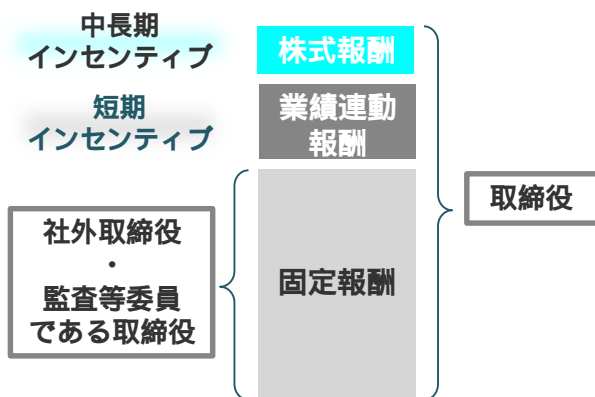
自己株式取得

前期・今期に続き来期以降も
自己株式取得の継続的な実施を検討

役員報酬

取締役に対し譲渡制限付株式報酬を導入（2024年6月）
目的：株主との一層の価値共有を進め、
グループの企業価値の持続的な向上を
図るためのインセンティブを付与
譲渡制限期間：退任時まで

**ROE 5%以上を
目指す**



ガバナンス

社外取締役・監査等委員である取締役を除く

目次

1

2025年3月期 第3四半期決算概要

2

2025年3月期 通期業績予想とトピックス

3

株主への利益還元

4

中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み

5

サステナビリティの取り組み

6

参考資料

サステナビリティの取り組み

サンケイビル
物流施設で
再生事業を新展開

「SANKEILOGI plus (サンケイロジプラス)」誕生

新築の施設開発に加え、新たに築年の経過した既存の物流施設を取得し、リニューアル工事を実施し賃貸用の物流施設として再生する事業を新ブランド名「SANKEILOGI plus (サンケイロジプラス)」として開始
埼玉県川越市 (2024年10月工事完了)
茨城県坂東市 (2025年1月工事完了) にて稼働開始予定



SANKEILOGI plus川越

特集ページ『Let's Find SDGs!』を開設

ウェブメディア『grape』において、SDGs 達成に向けた取り組みやアイデアを紹介する特集ページ『Let's Find SDGs!』を開設
2023年10月に『SDGメディア・コンパクト』に加盟したことを踏まえ、企業が取り組む SDGs 活動の紹介や、生活者がより身近に実践できる SDGs へのアイデアを紹介する特集ページをリリース



グレイプ
「SDGs」の
アイデアや取り組み
を紹介

目次

1

2025年3月期 第3四半期決算概要

2

2025年3月期 通期業績予想とトピックス

3

株主への利益還元

4

中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み

5

サステナビリティの取り組み

6

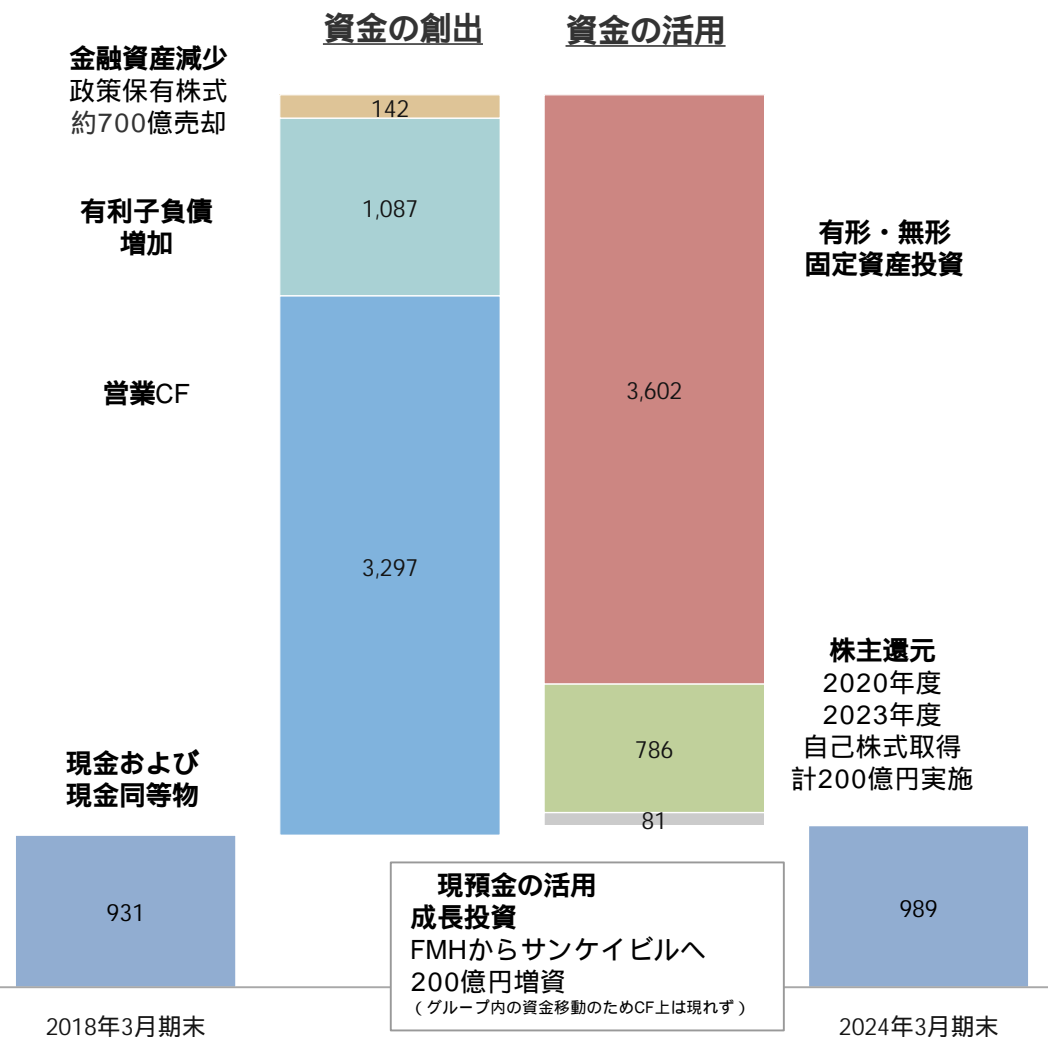
参考資料

(金額単位：百万円) 1株あたり年間配当は円

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	631,482	519,941	525,087	535,641	566,443
営業利益	26,341	16,274	33,338	31,401	33,519
親会社株主に帰属する 当期純利益	41,307	10,112	24,879	46,855	37,082
売上高当期純利益率	6.5%	1.9%	4.7%	8.7%	6.5%
有利子負債	247,915	288,403	272,148	276,900	324,760
純資産	745,574	784,429	808,788	848,769	869,628
投下資本 (有利子負債+純資産)	993,490	1,072,833	1,080,937	1,125,670	1,194,389
総資産	1,254,613	1,336,042	1,335,991	1,382,646	1,448,833
政策保有株式 (FMH)	173,095	233,466	236,808	227,445	216,356
対投下資本割合	17.42%	21.76%	21.91%	20.21%	18.11%
対純資産割合	23.22%	29.76%	29.28%	26.80%	24.88%
自己資本比率	58.6%	57.9%	59.7%	60.6%	59.2%
総資産当期純利益率	3.2%	0.8%	1.9%	3.4%	2.6%
自己資本当期純利益率	5.6%	1.3%	3.2%	5.7%	4.4%
株価収益率	6.0	30.6	10.5	5.7	11.7
株価純資産倍率	0.34	0.39	0.33	0.32	0.50
1株あたり年間配当 (円)	44	36	38	50	48
自己株式取得額 1	10,000			10,000	15,000
総還元性向 2	49.15%	81.38%	34.42%	45.39%	68.99%

資金の活用状況と設備投資実績

直近6年の資金の活用状況



設備投資実績

(単位：億円)

期	メディア・コンテンツ		都市開発		その他	
	金額	内容	金額	内容	金額	内容
2019年 3月期	242	本社ビル土地(底地)取得 放送機材の取得 スタジオ設備・ 物流関連設備の改修・更新	464	オフィスビル、ホテル及び シニア施設開発用地の取得	6	事務用機器などの リース資産の取得
2020年 3月期	132	放送機材の取得 スタジオ設備の更新 中継車等のリース資産の取得	247	ホテル、オフィスビル及び シニア施設の取得	5	事務用機器などの リース資産の取得
2021年 3月期	60	編集用設備の更新 放送機材の取得 スタジオ設備の更新	359	オフィスビル建設、賃貸物件 及びホテルの開発用地取得	2	事務用機器などの リース資産の取得
2022年 3月期	55	スタジオ設備・ 放送用回線設備の更新 放送機材の取得	320	オフィスビル建設や 賃貸物件開発用地の取得	2	事務用機器などの リース資産の取得
2023年 3月期	57	スタジオ設備の更新 放送機材の取得	450	オフィスビルや 賃貸レジデンス の開発用地等の取得	5	事務用機器などの リース資産の取得
2024年 3月期	68	スタジオ設備の更新 放送機材の取得	914	オフィスビルや 賃貸レジデンス の開発用地等の取得	3	事務用機器などの リース資産の取得
合計	614		2,754		23	

*有価証券報告書の「設備投資等の概要」等から引用した数値であり、
キャッシュフロー計算書上の有形・無形固定資産投資の数字とは異なる

セグメント別 資産等

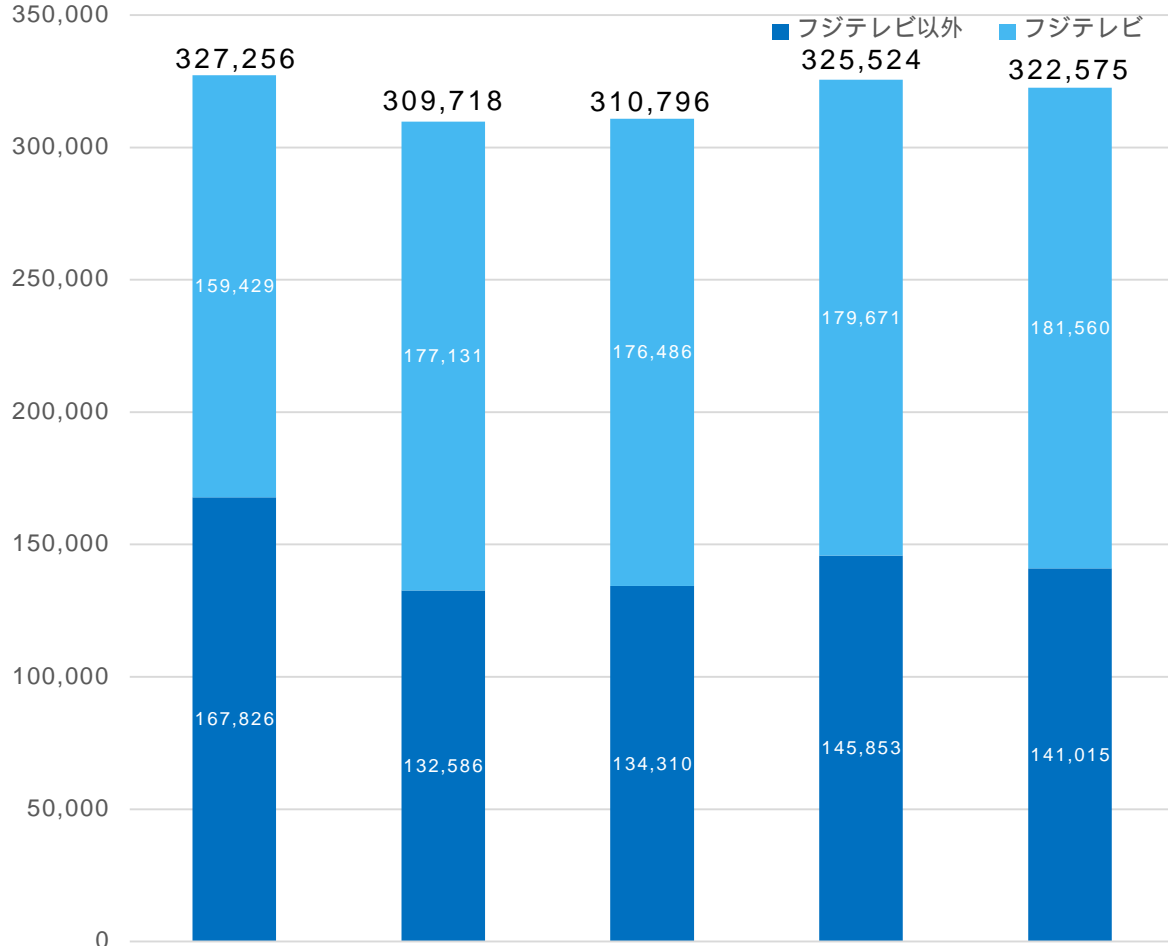
(単位：百万円)

		事業セグメント			合計	調整額	連結財務諸表計上額
		メディア・コンテンツ事業	都市開発・観光事業	その他事業			
営業利益	2024年度3Q累計	15,174	13,124	657	28,957	1,786	27,170
	2023年度3Q累計	11,840	12,663	855	25,359	1,757	23,601
	増減	3,334	461	197	3,597	28	3,568
	増減(%)	28.2%	3.6%	23.1%	14.2%	—	15.1%
資産	2024年度3Q末	532,603	626,763	22,329	1,181,695	342,015	1,523,711
	2023年度3Q末	517,034	542,962	22,572	1,082,569	331,365	1,413,935
	増減	15,568	83,800	243	99,126	10,650	109,776
	増減(%)	3.0%	15.4%	1.1%	9.2%		7.8%

セグメント	会社名	会社数
メディア・コンテンツ	フジテレビジョン、ビーエスフジ、ニッポン放送、仙台放送、 フジクリエイティブコーポレーション、共同テレビジョン、ポニーキャニオン、 フジパシフィックミュージック、DINOS CORPORATION、クオラス、扶桑社、NEXTEP、 フジアール、フジ・メディア・テクノロジー、共同エディット、バスク、バンエイト、 ベイシス、フジ・ミュージックパートナーズ、 シンコーミュージック・パブリッシャーズ、グレイプ、イミニ免疫薬粧、 フジ・コンシューマ・プロダクツ FUJI MUSIC GROUP, INC.、ARC/CONRAD MUSIC LLC	25社
都市開発・観光	サンケイビル、グランビスタ ホテル&リゾート、 サンケイビルマネジメント、サンケイビルテクノ、サンケイビルウェルケア、 サンケイ会館、サンケイビル・アセットマネジメント、伸和サービス、 SKB USA LLC、SKB PORTLAND LLC、Sankei Investor 1201,LLC	11社
その他	フジミック、ニッポン放送プロジェクト、フジキャリアデザイン、 FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL, INC.	4社
合計		40社

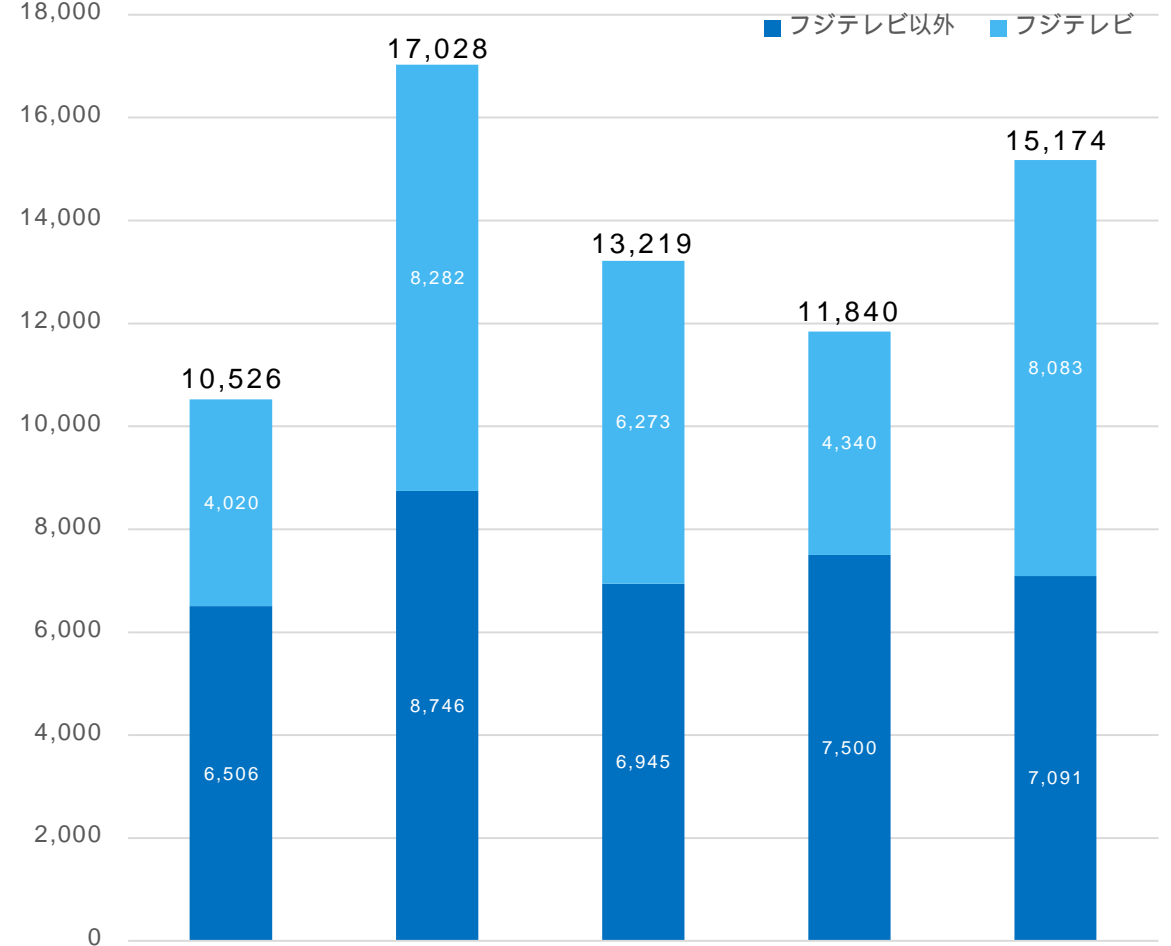
(単位：百万円)

売上高



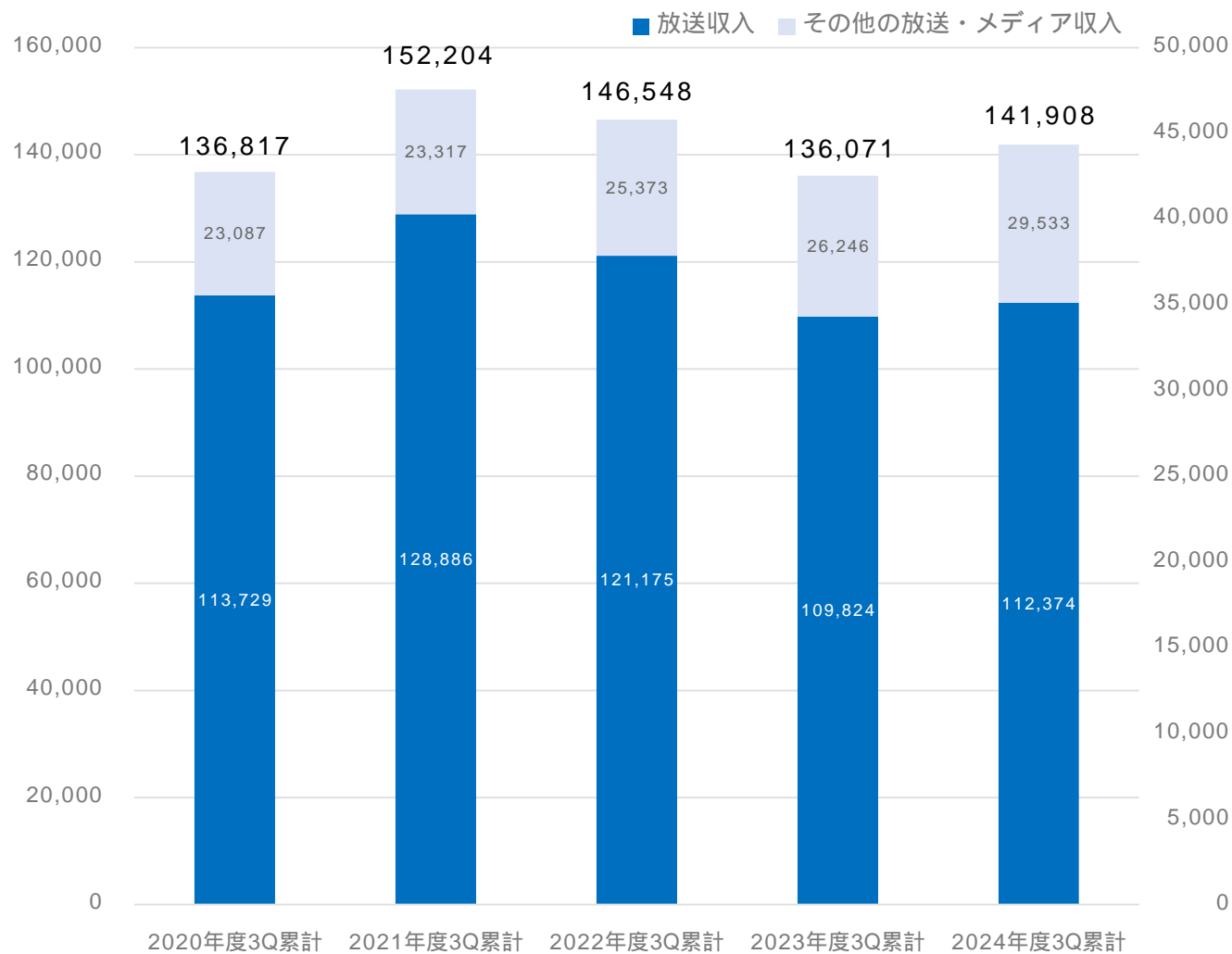
2020年度3Q累計 2021年度3Q累計 2022年度3Q累計 2023年度3Q累計 2024年度3Q累計
フジテレビ以外はセグメント売上とフジテレビ売上の差額。セグメント内調整を含む

営業利益

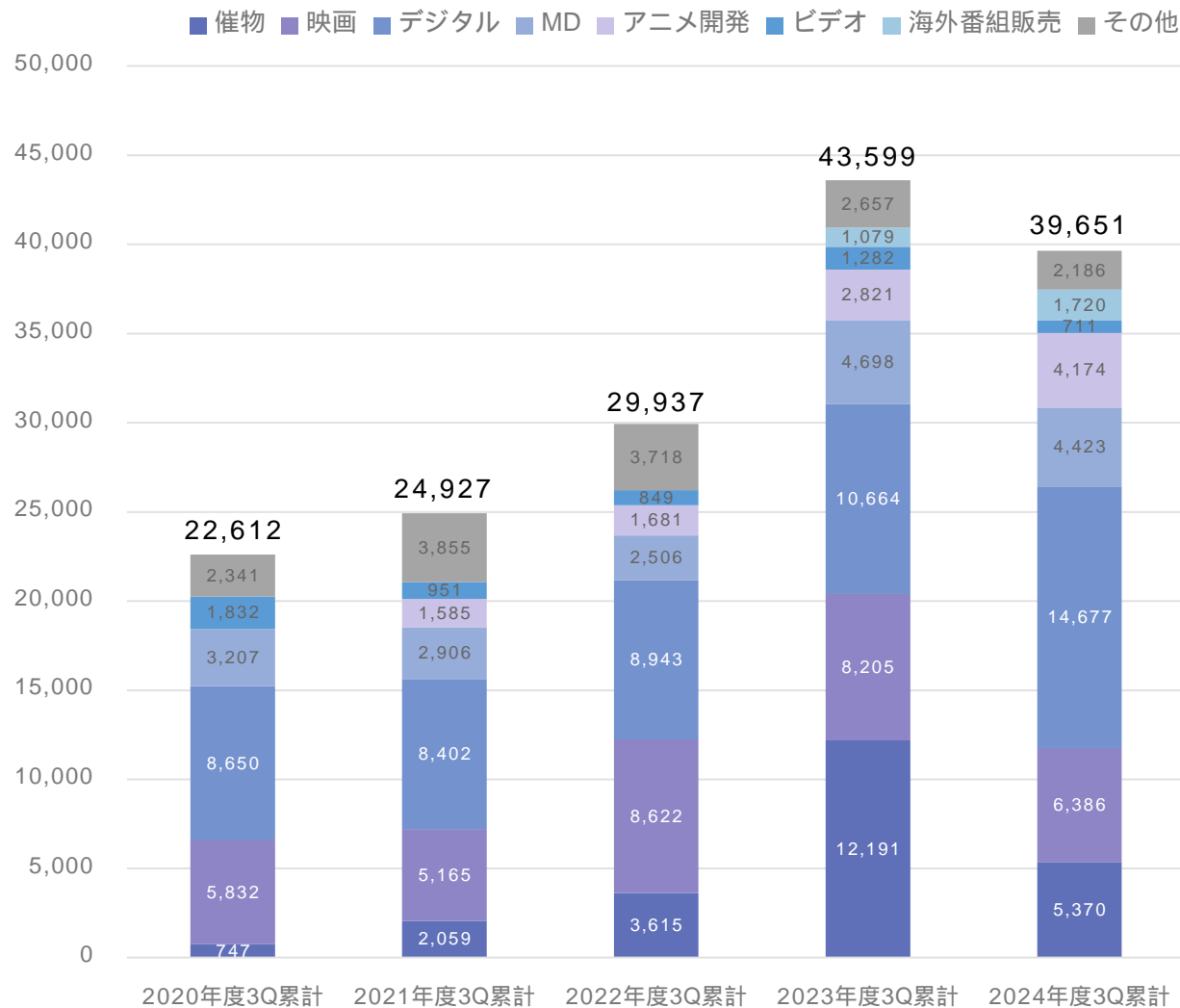


2020年度3Q累計 2021年度3Q累計 2022年度3Q累計 2023年度3Q累計 2024年度3Q累計
フジテレビ以外はセグメント利益とフジテレビ営業利益の差額。セグメント内調整を含む

放送・メディア収入の売上内訳推移 (単位: 百万円)



コンテンツ・ビジネス収入の売上内訳推移 (単位: 百万円)



広告収入

(単位：百万円・%)

	2023年度				2024年度				対前期比増減				対前期比			
	ネット	ローカル	スポット	合計	ネット	ローカル	スポット	合計	ネット	ローカル	スポット	合計	ネット	ローカル	スポット	合計
1Q	15,411	2,354	18,377	36,142	14,933	2,402	17,976	35,313	477	47	400	829	96.9%	102.0%	97.8%	97.7%
3Q	16,325	2,451	15,820	34,598	16,897	2,584	16,406	35,888	571	132	585	1,290	103.5%	105.4%	103.7%	103.7%
上期	31,737	4,806	34,197	70,741	31,831	4,986	34,383	71,201	94	180	185	460	100.3%	103.8%	100.5%	100.7%
3Q	16,396	2,706	19,980	39,083	17,495	2,984	20,692	41,173	1,099	278	712	2,090	106.7%	110.3%	103.6%	105.3%
4Q	15,418	2,622	19,484	37,524												
下期	31,814	5,329	39,464	76,607												
通期	63,551	10,135	73,662	147,348												

視聴率

* ビデオリサーチ調べ ・関東地区：ゴールデン：19時～22時 ・プライム：19時～23時 ・全日：6時～24時 ・個人、個人全体：4歳以上 ・コア、コアターゲット：13歳～49歳

(単位：%)

3Q	ゴールデン		プライム		全日	
	個人	コア	個人	コア	個人	コア
フジテレビ	3.6	2.7	3.5	2.6	2.3	1.6
日本テレビ	5.3	4.2	5.0	3.9	3.4	2.4
テレビ朝日	5.8	2.4	5.7	2.5	3.7	1.2
TBSテレビ	4.5	3.2	4.3	3.0	2.8	1.5
テレビ東京	3.1	1.2	2.7	1.1	1.2	0.4

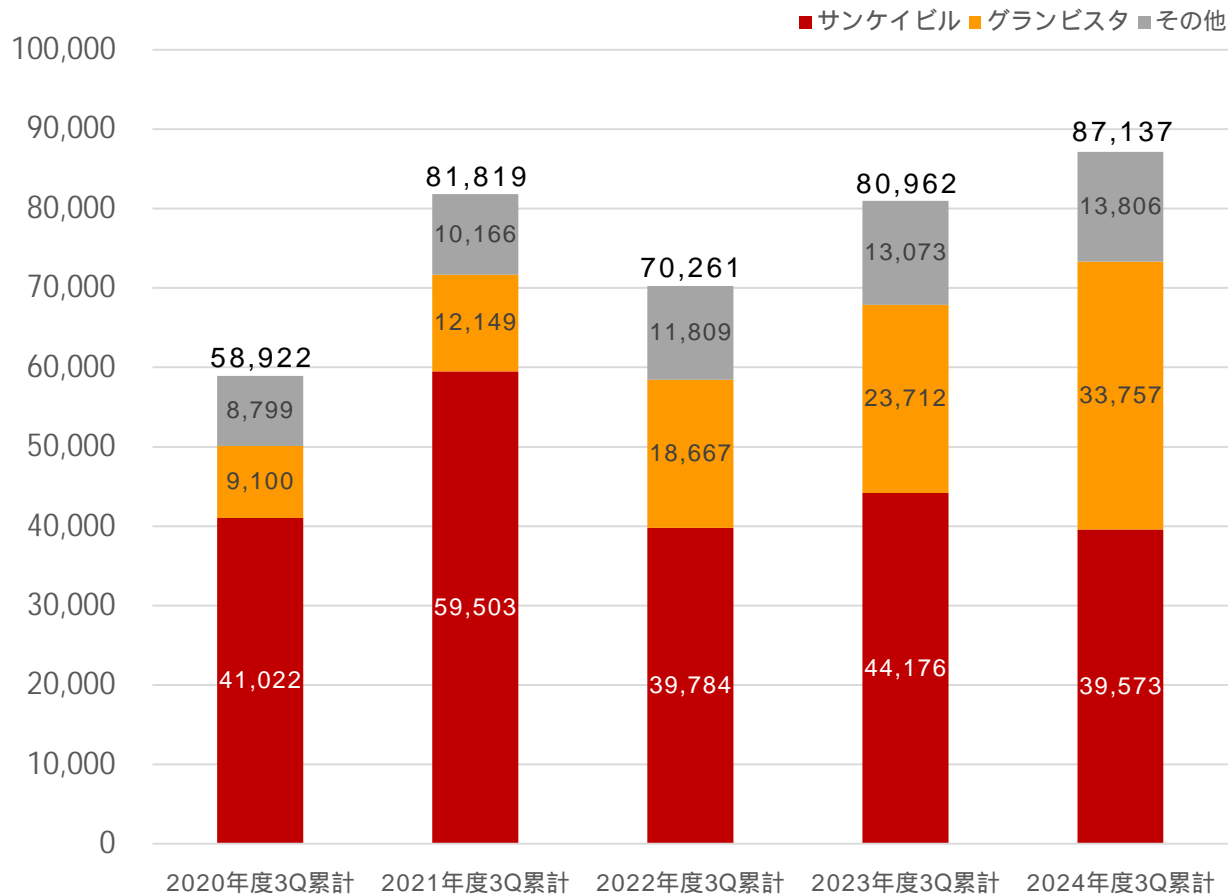
PUT	30.5	15.8	28.3	15.1	18.2	8.5
-----	------	------	------	------	------	-----

年間	ゴールデン		プライム		全日	
	個人	コア	個人	コア	個人	コア
フジテレビ	3.5	2.7	3.4	2.6	2.2	1.6
日本テレビ	5.3	4.2	5.0	4.0	3.4	2.5
テレビ朝日	5.3	2.3	5.3	2.3	3.5	1.2
TBSテレビ	4.3	3.0	4.2	2.9	2.7	1.5
テレビ東京	3.1	1.3	2.7	1.2	1.2	0.5

PUT	30.8	16.2	28.7	15.5	18.7	8.8
-----	------	------	------	------	------	-----

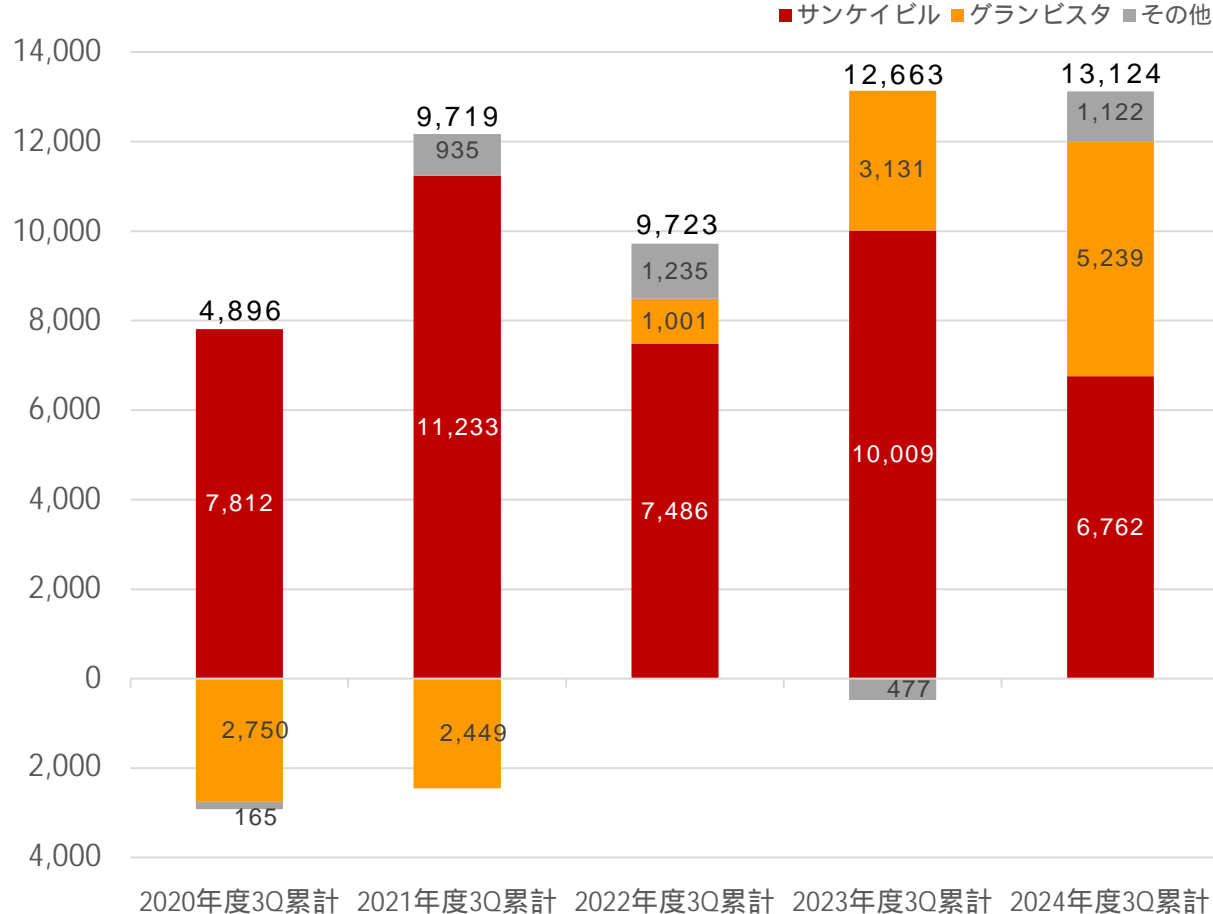
(単位：百万円)

売上高



その他はセグメント売上とサンケイビルおよびグランピスタ売上との差額。セグメント内調整を含む。

営業利益



その他はセグメント利益とサンケイビルおよびグランピスタ営業利益との差額。セグメント内調整を含む。

サンケイビルグループ連結の主要事業業績 (FMHとは連結対象が異なります)

売上高

(単位：百万円)

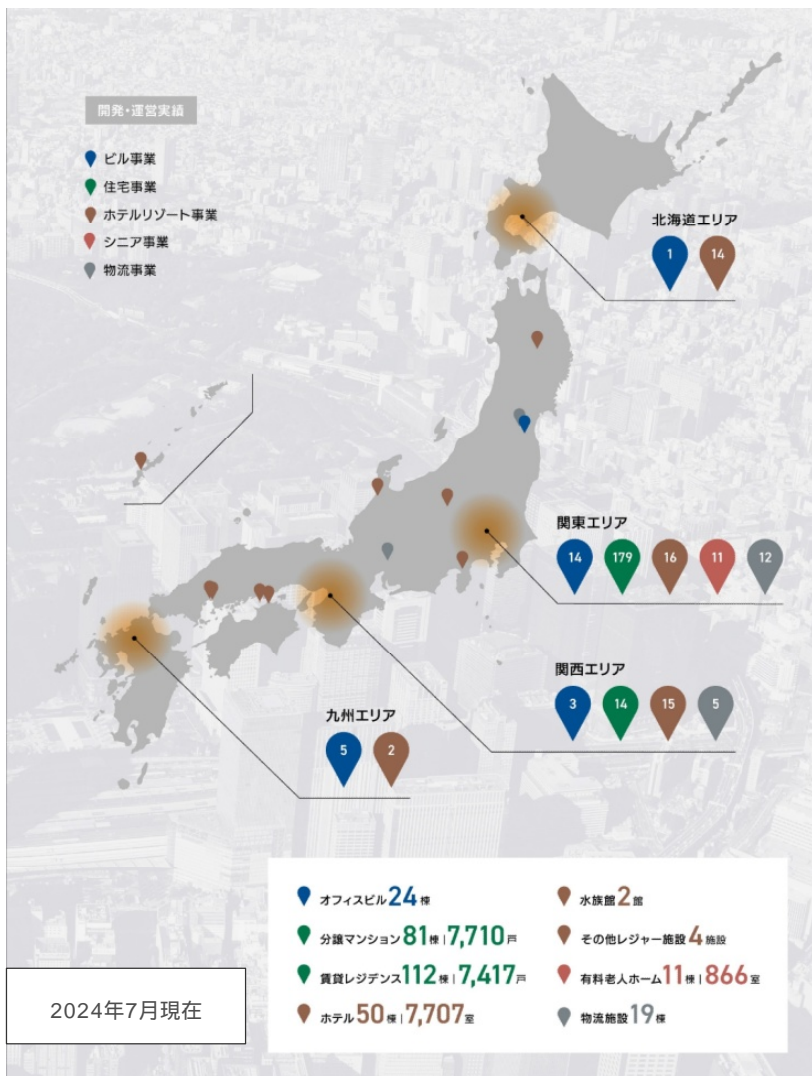
	2023年度					2024年度					前期比
	賃貸事業	販売・売却事業	ホテルリゾート事業	その他修正等	合計	賃貸事業	販売・売却事業	ホテルリゾート事業	その他修正等	合計	合計
第1四半期	5,766	11,164	7,490	4,788	29,210	6,035	9,853	9,786	4,226	29,901	691
第2四半期	6,145	4,413	9,561	4,323	24,443	6,441	7,468	14,679	3,345	31,934	7,491
上期	11,911	15,578	17,051	9,112	53,654	12,476	17,321	24,466	7,571	61,836	8,182
第3四半期	6,211	10,497	8,448	3,140	28,298	6,801	2,996	12,314	4,896	27,009	1,289
第4四半期	6,272	33,184	7,809	5,070	52,337						
下期	12,483	43,682	16,258	8,211	80,635						
通期	24,395	59,260	33,310	17,323	134,289						

営業利益

(単位：百万円)

	2023年度					2024年度					前期比
	賃貸事業	販売・売却事業	ホテルリゾート事業	その他修正等	合計	賃貸事業	販売・売却事業	ホテルリゾート事業	その他修正等	合計	合計
第1四半期	1,265	2,868	690	107	4,931	1,309	2,159	792	325	3,935	995
第2四半期	1,604	1,465	1,804	405	4,469	1,521	1,769	3,112	435	5,967	1,498
上期	2,870	4,333	2,494	298	9,400	2,831	3,929	3,904	760	9,903	503
第3四半期	1,514	2,633	595	1,991	2,751	1,506	72	1,344	7	2,930	180
第4四半期	1,789	11,563	956	1,535	7,282						
下期	275	14,196	360	3,526	10,034						
通期	2,595	18,530	2,134	3,826	19,433						

サンケイビルグループ 開発・運営実績



物流施設開発プロジェクト

名称	所在地	竣工年月	敷地面積	延床面積	建物構造・階数	
SANKEILOGI 柏の葉	千葉県柏市柏の葉	2022年3月	5,313.90㎡	11,049.21㎡	S造、地上4階	
SANKEILOGI 厚木	神奈川県厚木市恩名	2022年8月	6,841.60㎡	14,054.62㎡	S造、地上4階	
SANKEILOGI 摂津	大阪府摂津市鶴野	2022年9月	7,318.82㎡	14,778.35㎡	S造、地上4階	
MCUD 南吹田	大阪府吹田市南吹田	2023年12月	約34,826㎡	約86,422㎡	S造、地上5階	
MCUD 小牧北	愛知県丹羽郡扶桑町	2024年4月	約36,793㎡	約43,706㎡	S造、地上2階	
長岡京物流センター	京都府長岡京市神足典葉	2024年4月	7,428.98㎡	15,355.5㎡	RCS造、地上4階	
SANKEILOGI 府中	東京都府中市武蔵台	2024年9月	16,876.98㎡	39,616.85㎡	RC+S造、地上4階	
SANKEILOGI Plus 川越	埼玉県川越市芳野台	2024年10月 リニューアル完了	約5,704㎡	約4,780㎡	S造+RC造、地上2階	
SANKEILOGI Plus 坂東	茨城県坂東市幸神平	2025年1月 リニューアル完了	約14,999㎡	約16,693㎡ (2棟計)	倉庫 S造、地上2階 事務所 S造、地上3階	
(仮称) SANKEILOGI 仙台泉	宮城県富谷市上桜木	2025年10月(予定)	約8,651㎡	約15,185㎡	S造、地上4階	
(仮称) 神戸市北区鹿の子台計画	兵庫県神戸市北区鹿の子台	2025年10月(予定)	約11,005㎡	約21,481㎡	S造・地上4階	
(仮称) 鶴ヶ島物流計画	埼玉県日高市大字下高萩新田	2026年2月(予定)	約9,025㎡	約14,250㎡	S造・地上3階	
(仮称) 戸田物流計画	埼玉県戸田市喜沢南	2026年5月(予定)	約4,732㎡	約10,417㎡	S造、地上4階	
(仮称) 春日部物流計画	埼玉県春日部市下柳	2027年3月(予定)	約5,593㎡	約12,492㎡	S造、地上4階	
(仮称) 千葉市新港物流計画	千葉県千葉市美浜区新港	2027年5月(予定)	約25,152㎡	約54,552㎡	S造、地上4階	
(仮称) 川口市領家物流計画	埼玉県川口市領家	西物件	2027年4月(予定)	約3,355㎡	約5,106㎡	S造・地上3階
		東物件	2027年7月(予定)	約13,448㎡	約30,994㎡	S造・地上4階
(仮称) 北松戸物流計画	千葉県松戸市上本郷	2027年6月(予定)	約15,411㎡	約34,044㎡ (2棟計)	S造・地上4階 S造・地上5階	

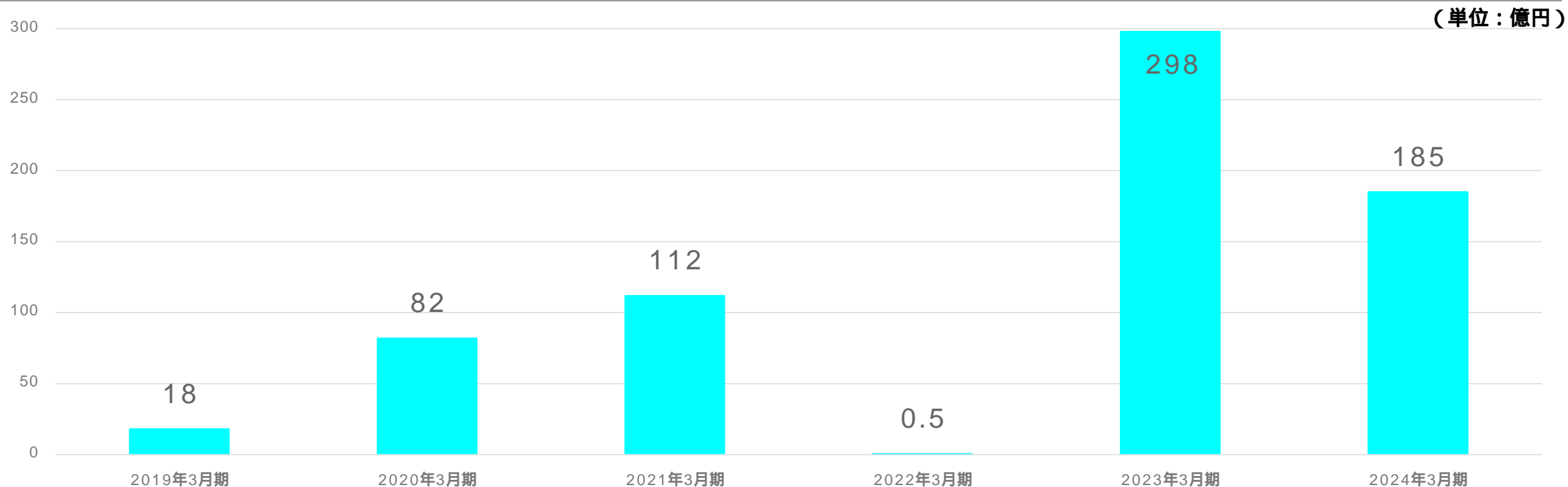
共同事業

2024年12月1日時点

考え方

取締役会において、銘柄ごとに、当社グループとの取引関係や規模、当該企業の業績や配当、株価などの定量的な側面も考慮の上、保有の合理性・必要性を検証
保有意義の希薄化が認められる銘柄等については、縮減の対象として検討
2030年度までに純資産比20%未満を目標とする

過去6年間（2019年3月期～2024年3月期）で約700億円の縮減



中期グループビジョン 資本収益性関連数値（実績）

売上高当期純利益率（%）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
6.5%	1.9%	4.7%	8.7%	6.5%

総資産回転率（回）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
0.5	0.4	0.4	0.4	0.4

財務レバレッジ（倍）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1.7	1.7	1.7	1.7	1.7

A：自己資本当期純利益率（%）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
5.6%	1.3%	3.2%	5.7%	4.4%

×

B：株価収益率（倍）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
6.0	30.6	10.5	5.7	11.7

||

時価総額（百万円）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
249,143	301,421	260,882	265,748	428,440

親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
41,308	10,114	24,881	46,856	37,083

A × B = C： 株価純資産倍率 （倍）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
0.34	0.39	0.33	0.32	0.50

目次

1

2025年3月期 第3四半期決算概要

2

2025年3月期 通期業績予想とトピックス

3

株主への利益還元

4

中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み

5

サステナビリティの取り組み

6

参考資料（第3四半期概要）

第3四半期 事業・業績概要

フジテレビは放送収入、「配信関連ビジネス」等好調、DINOSの収益改善も寄与
都市開発は、ホテルリゾート好調

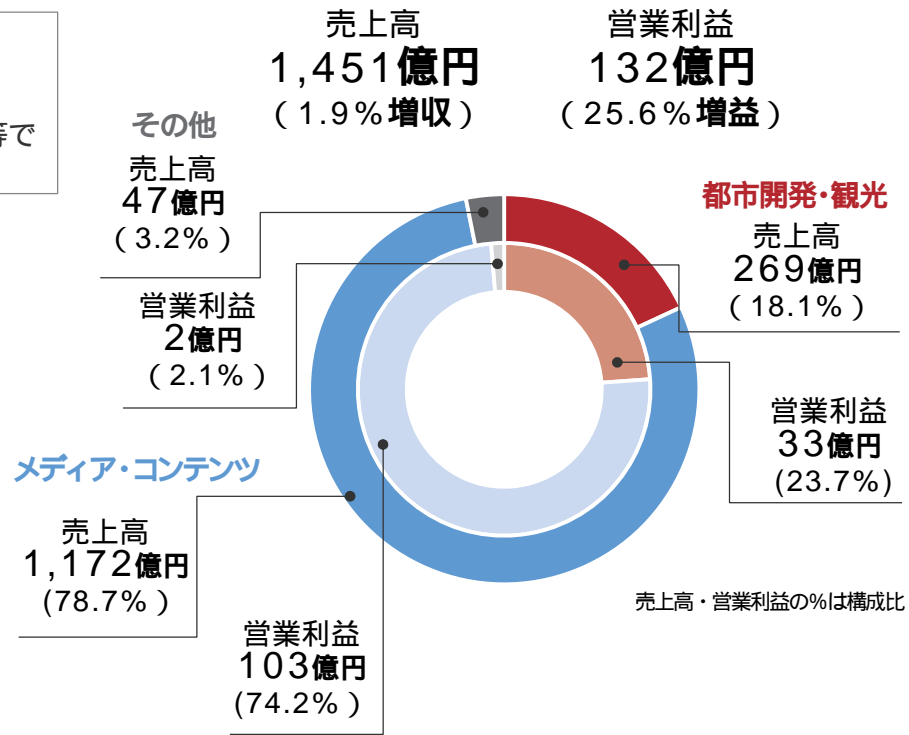
▶ 前期比：増収増益
計画比：ほぼ見込み通り

メディア・コンテンツ事業 増収増益

フジテレビの放送・配信関連ビジネス好調
フジテレビの放送収入、配信関連ビジネスが好調、DINOSの改革に伴う減収を補いセグメントで増収
同じくフジテレビの放送収入、配信関連ビジネスの好調等でセグメント全体では増収増益

- フジテレビ：増収増益**
放送・メディア：増収粗利益増益
- ・タイム：レギュラー・単発ともに増収
 - ・スポット：前年実績超えが続き増収
 - ・配信広告：前期比+13.9%と大幅増収
 - ・番組費：抑制基調
- コンテンツ・ビジネス：増収粗利益増益**
- ・イベント：「アレグリア」の反動減等で減収
 - ・デジタル：前期比+41.4%と大幅増収
FOD有料会員数増やコンテンツ販売が寄与
 - ・アニメ：前期比+63.1%と大幅増収
- 各社：**
クオラス：イベント関連により増収
DINOS：商品構成と販促費用の見直しで減収も増益

連結 増収増益



都市開発・観光事業 減収増益

「販売・売却」減収「ホテル」好調
サンケイビルは販売・売却の反動減により減収減益、
グランビスタはホテル事業好調、「神戸須磨」開業で
増収増益、セグメント全体では減収増益

- サンケイビル：減収減益**
賃貸：レジデンス、オフィス、ホテル等の賃料・稼働率ともに引き続き好調
一時費用の発生等で減益
- 販売・売却**：マンション分譲は順調ながら、大型物件売却がなく減収減益
- グランビスタ ホテル&リゾート：増収増益**
- ・ホテル事業が観光需要を取り込み稼働率、客単価ともに上昇傾向
 - ・「神戸須磨シーワールド」飲食・物販等好調
10月12日(土)に来館者数100万人を達成

第3四半期(2024年10月~12月) 連結 決算概要

(単位: 百万円)

	2023年度 3Q	2024年度 3Q	対前期増減	
売上高	142,505	145,177	2,672	1.9%
営業利益	10,580	13,291	2,710	25.6%
経常利益	13,188	16,249	3,061	23.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,203	11,477	2,274	24.7%

セグメント別 売上高及び営業利益 (2024年10月~12月)

(単位：百万円)

	事業セグメント			計	調整額	連結損益 計算上 書額	
	メディア・ コンテンツ 事業	都市開発・ 観光事業	その他 事業				
売上高	2024年度3Q	117,216	26,915	4,729	148,861	3,684	145,177
	2023年度3Q	113,048	27,902	5,254	146,206	3,700	142,505
	増減	4,167	986	525	2,655	16	2,672
	増減(%)	3.7%	3.5%	10.0%	1.8%		1.9%
営業利益	2024年度3Q	10,388	3,311	295	13,995	704	13,291
	2023年度3Q	7,683	2,914	365	10,963	382	10,580
	増減	2,704	396	69	3,032	321	2,710
	増減(%)	35.2%	13.6%	19.0%	27.7%		25.6%

営業 利益率	2024年度3Q	8.9%	12.3%	6.3%	9.4%		9.2%
	2023年度3Q	6.8%	10.4%	6.9%	7.5%		7.4%

メディア・コンテンツ事業 会社別概要 (2024年10月~12月)

6. 参考資料
2025年3月期 3Q決算概要
メディア・コンテンツ

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2023年度 3Q	2024年度 3Q	前期比	2023年度 3Q	2024年度 3Q	前期比	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減
フジテレビジョン	62,619	65,951	3,332 (5.3%)	4,513	7,580	3,067 (68.0%)	7.2%	11.5%	4.3%
ビーエスフジ	3,979	3,868	111 (2.8%)	816	862	46 (5.6%)	20.5%	22.3%	1.8%
ニッポン放送	3,754	3,957	203 (5.4%)	18	71	52 (289.9%)	0.5%	1.8%	1.3%
フジクリエイティブ コーポレーション	3,718	3,464	254 (6.8%)	307	317	10 (3.3%)	8.3%	9.2%	0.9%
共同テレビジョン	4,285	3,419	866 (20.2%)	181	160	21 (11.7%)	4.2%	4.7%	0.5%

メディア・コンテンツ事業 会社別概要 (2024年10月~12月)

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2023年度 3Q	2024年度 3Q	前期比	2023年度 3Q	2024年度 3Q	前期比	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減
ポニーキャニオン	8,229	8,518	288 (3.5%)	344	836	1,180 (-)	4.2%	9.8%	14.0%
フジパシフィック ミュージック	3,059	2,918	141 (4.6%)	274	170	103 (37.7%)	9.0%	5.9%	3.1%
D I N O S CORPORATION	14,999	13,646	1,353 (9.0%)	382	670	288 (75.5%)	2.5%	4.9%	2.4%
クオラス	7,940	9,718	1,778 (22.4%)	301	411	110 (36.8%)	3.8%	4.2%	0.4%
その他及び セグメント内修正等	463	1,753	-	544	979	-	-	-	-

クオラスの広告出稿の実取扱高を含めた売上高は前期13,907百万円、当期15,447百万円。

フジテレビ (2024年10月~12月) 決算概要

(単位: 百万円)

	2023年度 3Q	2024年度 3Q	対前期増減	
売上高	62,619	65,951	3,332	5.3%
営業利益	4,513	7,580	3,067	68.0%
経常利益	4,615	7,525	2,910	63.1%
四半期純利益	3,164	5,152	1,987	62.8%

フジテレビ (2024年10月～12月) 内訳別の収入及び粗利益

6. 参考資料
2025年3月期 3Q決算概要
フジテレビ

(単位：百万円)

	内訳			計
		放送・メディア	コンテンツ・ビジネス	
収入	2024年度3Q	51,740	14,211	65,951
	2023年度3Q	48,862	13,756	62,619
	増減	2,877	455	3,332
	増減(%)	5.9%	3.3%	5.3%
粗利益	2024年度3Q	17,965	5,464	23,430
	2023年度3Q	15,183	4,634	19,818
	増減	2,782	830	3,612
	増減(%)	18.3%	17.9%	18.2%
粗利益率	2024年度3Q	34.7%	38.4%	35.5%
	2023年度3Q	31.1%	33.7%	31.6%

放送・メディア収入と原価（2024年10月～12月）

（単位：百万円）

	2023年度 3Q	2024年度 3Q	対前期増減	
放送・メディア収入	48,862	51,740	2,877	5.9%
放送収入	39,083	41,173	2,090	5.3%
ネットタイム	16,396	17,495	1,099	6.7%
ローカルタイム	2,706	2,984	278	10.3%
スポット	19,980	20,692	712	3.6%
その他の放送・メディア収入	9,779	10,566	786	8.0%
配信広告	2,810	3,201	390	13.9%
番組販売	3,843	3,981	137	3.6%
CS放送・その他	3,125	3,384	258	8.3%
放送・メディア原価	33,678	33,774	95	0.3%
放送・メディア粗利益	15,183	17,965	2,782	18.3%

コンテンツ・ビジネス 収入と原価 (2024年10月~12月)

(単位: 百万円)

	2023年度 3Q	2024年度 3Q	対前期増減	
			増減額	増減率
コンテンツ・ビジネス収入	13,756	14,211	455	3.3%
催物事業収入	3,041	1,360	1,680	55.3%
映画事業収入	3,149	2,827	322	10.2%
デジタル事業収入	3,907	5,527	1,619	41.4%
MD事業収入	1,166	1,129	37	3.2%
アニメ開発事業収入	1,001	1,633	631	63.1%
ビデオ事業収入	174	244	69	39.6%
海外番販事業収入	483	732	249	51.5%
その他の収入	830	756	73	8.9%
コンテンツ・ビジネス原価	9,122	8,747	375	4.1%
コンテンツ・ビジネス粗利益	4,634	5,464	830	17.9%

スポット収入 業種別動向

(2024年10月～2024年12月) 管理ベース

業種	2023年度 3Qシェア	2024年度 3Qシェア	対前期増減
化粧品・トイレタリー	10.9%	12.1%	12.6%
情報・通信・放送	12.7%	11.2%	10.1%
食品	9.6%	9.8%	3.8%
交通・レジャー・観光	6.4%	6.9%	9.5%
自動車・関連品	4.6%	6.1%	33.7%
外食・各種サービス	8.2%	6.0%	25.5%
医薬品・医療用品	6.1%	5.6%	6.5%
金融・保険	5.5%	5.4%	0.5%
事務・精密・光学機器	3.6%	5.2%	45.9%

業種	2023年度 3Qシェア	2024年度 3Qシェア	対前期増減
出版・エンタテインメント	5.2%	5.0%	2.4%
非アルコール飲料	5.8%	4.9%	14.2%
流通・小売業	4.7%	4.6%	0.5%
衣料・身回品・雑貨	2.8%	3.7%	35.3%
アルコール飲料	4.7%	3.1%	33.1%
家電・AV機器	2.6%	2.3%	9.4%
不動産・住宅設備	2.4%	2.2%	4.0%
電話サービス	2.1%	2.1%	3.9%
エネルギー・機械	0.8%	1.4%	80.0%
その他	1.5%	2.2%	47.6%

都市開発・観光事業 会社別概要 (2024年10月~12月)

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 3Q	2024年度 3Q	前期比	2023年度 3Q	2024年度 3Q	前期比
サンケイビル	16,697	9,796	6,901 (41.3%)	3,513	1,062	2,450 (69.7%)
グランピスタ ホテル&リゾート	7,733	11,336	3,602 (46.6%)	603	1,526	923 (153.2%)
その他及び セグメント内修正等	3,470	5,783	-	1,201	721	-

営業利益率		
2023年度 3Q	2024年度 3Q	前期比
21.0%	10.9%	10.1%
7.8%	13.5%	5.7%
-	-	-

参考：サンケイビルグループ連結事業別内訳（FMHとは連結対象が異なります）

	売上高			営業利益		
	2023年度 3Q	2024年度 3Q	前期比	2023年度 3Q	2024年度 3Q	前期比
賃貸事業	6,211	6,801	589	1,514	1,506	8
販売・売却事業	10,497	2,996	7,500	2,633	72	2,560
ホテルリゾート事業	8,448	12,314	3,865	595	1,344	749
その他及び セグメント内修正等	3,140	4,896	-	1,991	7	-

営業利益率		
2023年度 3Q	2024年度 3Q	前期比
24.4%	22.1%	2.3%
25.1%	2.4%	22.7%
7.0%	10.9%	3.9%
-	-	-

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値等、将来に関する記述が含まれている場合があります。実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

【HP】

<https://www.fujimediahd.co.jp/>

【統合報告書】

<https://www.fujimediahd.co.jp/ir/integrated.html>

